

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

令和 6年 10月 3日
開設者名 国立大学法人三重大学
学長 伊藤 正明
三大医病総 第 254 号

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
氏名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

三重大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地
電話(059)232-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			
消化器内科:消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科:脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科:糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科:リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有				
外科と組み合わせた診療科名					
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科	8小児外科
診療実績					

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科		2小児科		3整形外科		4脳神経外科
5皮膚科		6泌尿器科		7産婦人科		8産科
9婦人科		10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科
13放射線診断科		14放射線治療科		15麻酔科		16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有				
歯科と組み合わせた診療科名					
1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科	
歯科の診療体制					

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 脳神経内科	2 消化器・肝臓内科	3 腫瘍内科	4 糖尿病・内分泌内科	5 緩和ケア内科
6 病理診断科	7 移植外科	8 形成外科	9 リウマチ・膠原病内科	10 リハビリテーション科
11 漢方内科	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
30	0	0	0	655	685	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	303	208.3	511.3	看護補助者	51	診療エックス線技師	0	
歯科医師	8	7.1	15.1	理学療法士	16	臨床検査	臨床検査技師	76
薬剤師	67	0.6	67.6	作業療法士	6		衛生検査技師	0
保健師	0	1.3	1.3	視能訓練士	9		その他	0
助産師	45	3.7	48.7	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	616	97.5	713.5	臨床工学士	27	医療社会事業従事者	13	
准看護師	0	1.4	1.4	栄養士	0	その他の技術員	53	
歯科衛生士	4	0	4	歯科技工士	2	事務職員	263	
管理栄養士	6	10	16	診療放射線技師	54	その他の職員	31	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	61	眼科専門医	10
外科専門医	47	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	10	放射線科専門医	29
小児科専門医	22	脳神経外科専門医	15
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	10
産婦人科専門医	14	救急科専門医	14
		合計	269

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (池田 智明) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

医療安全管理委員会委員、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会委員長として、業務を経験。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	506.4 人	6 人	512.4 人
1日当たり平均外来患者数	1356.9 人	73.1 人	1430 人
1日当たり平均調剤数	入院737.5、外来45.3 計782.8		剤
必要医師数	131.1		人
必要歯科医師数	5.0		人
必要薬剤師数	18.0		人
必要(准)看護師数	305.0		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	16 床	心電計	有
集中治療室	381.7 ㎡	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	374	㎡	病床数	31 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	53			㎡
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	423 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機、自動分析装置			
細菌検査室	147 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、遠心機、安全キャビネット、高圧蒸気滅菌器、自動分析装置			
病理検査室	236 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、染色装置、局所排気装置			
病理解剖室	32 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機			
講義室	1617 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	19 室	収容定員	1193 人
図書室	759 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	55180 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	90.9	%	逆紹介率	82.5	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13715 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13381 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1031 人		
	D: 初診の患者の数		16212 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
大野 敏幸	津市役所 内部統制担当理事		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2
片山 眞洋	片山総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1
小池 敦	三重県立看護大学看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室 特任准教授		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本学ホームページへ掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
子宮内細菌叢検査2	37人
子宮内膜受容能検査2	18人
膜構造を用いた生理学的精子選択術	21人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	3
取扱い患者数の合計(人)	76人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロン 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	ロボット支援手術(咽頭、下咽頭悪性腫瘍手術、中咽頭悪性腫瘍手術[前壁切除]、中咽頭悪性腫瘍手術[前壁以外])	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 ロボット支援手術(咽頭、下咽頭悪性腫瘍手術、中咽頭悪性腫瘍手術[前壁切除]、中咽頭悪性腫瘍手術[前壁以外])			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 ロボット支援腹腔鏡下子宮癒痕部修復術			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術:透析患者に対するTAVI	取扱患者数	57
当該医療技術の概要 経皮的動脈弁置換術:透析患者に対するTAVI			
医療技術名	ダビンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍腫瘍手術 ダビンチSPを用いたロボット支援下拡大胸膜摘除術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 ダビンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍腫瘍手術 ダビンチSPを用いたロボット支援下拡大胸膜摘除術			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	4
扱い患者数の合計(人)	73

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	50
2	筋萎縮性側索硬化症	29	57	特発性拡張型心筋症	41
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	17
6	パーキンソン病	211	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	1	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	36
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	50	66	IgA 腎症	33
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	35
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	67	68	黄色靱帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	17	69	後縦靱帯骨化症	47
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クロー・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	40
17	多系統萎縮症	25	72	下垂体性ADH分泌異常症	24
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	56	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	31	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	24
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	66
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	46	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	57
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	19
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	41
32	自己食空性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	40
34	神経線維腫症	23	89	リンパ管筋腫症	2
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	18
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	17	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	48
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	15	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	226
42	結節性多発動脈炎	7	97	潰瘍性大腸炎	363
43	顕微鏡的多発血管炎	25	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	5	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	187	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	105	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	106	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	31	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	2
53	シェーグレン症候群	19	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	16	109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	7	110	フラウ症候群	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	17
113	筋ジストロフィー	5	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎症	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	6	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	1	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	2	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/トモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスモンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	P CDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	8	208	修正大血管転位症	3
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	3
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	5

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	276	軟骨無形成症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
215	ファロー四徴症	12	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
216	両大血管右室起始症	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
217	エプスタイン病	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
218	アルポート症候群	1	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	283	後天性赤芽球癆	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	285	ファンコニ貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	36	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	287	エプスタイン症候群	0
224	紫斑病性腎炎	5	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
225	先天性腎性尿崩症	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
227	オスラー病	11	291	ヒルシウスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
228	閉塞性細気管支炎	0	292	総排泄腔外反症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	293	総排泄腔遺残	1
230	肺胞低換気症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
232	カーニー複合	0	296	胆道閉鎖症	6
233	ウォルフラム症候群	0	297	アラジール症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	298	遺伝性膀胱炎	1
235	副甲状腺機能低下症	1	299	嚢胞性線維症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	300	IgG4関連疾患	12
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	301	黄斑ジストロフィー	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	303	アッシャー症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
241	高チロシン血症1型	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
242	高チロシン血症2型	0	306	好酸球性副鼻腔炎	52
243	高チロシン血症3型	0	307	カナバン病	0
244	メーブルシロップ尿症	0	308	進行性白質脳症	0
245	プロピオン酸血症	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	0
246	メチルマロン酸血症	0	310	先天異常症候群	0
247	イソ吉草酸血症	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
249	グルタル酸血症1型	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
250	グルタル酸血症2型	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
251	尿素サイクル異常症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	316	カルニチン回路異常症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	317	三頭酵素欠損症	0
254	ポルフィリン症	0	318	シトリン欠損症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
256	筋型糖原病	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
257	肝型糖原病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	322	ケトチオラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
260	シトステロール血症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
261	タンジール病	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	326	大理石骨病	0
263	脳髄黄色腫症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
264	無 リボタンパク血症	0	328	前眼部形成異常	0
265	脂肪萎縮症	0	329	無虹彩症	0
266	家族性地中海熱	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	2
267	高IgD症候群	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	8
268	中條・西村症候群	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
271	強直性脊椎炎	8	335	ネフロン癆	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	336	家族性低リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	337	ホモシスチン尿症	0
274	骨形成不全症	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	137
合計患者数(人)	2746

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・感染対策向上加算1(指導強化加算)
・医療機器安全管理料2	・患者サポート体制充実加算
・初診料の注1、再診料の注1及び外来診療料の注1の規定による情報通信機器を用いた診療	・重症患者初期支援充実加算
・医療情報・システム基盤整理体制充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・術後疼痛管理チーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・バイオ後続品使用体制加算
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・入院栄養管理体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・臨床研修病院入院診療加算(医科)	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科)	・入退院支援加算1
・救急医療管理加算	・入退院支援加算(地域連携診療計画加算)
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算(入院時支援加算)
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入退院支援加算(総合機能評価加算)
・診療録管理体制加算2	・医療的ケア児(者)入院前支援加算
・医師事務作業補助体制加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算	・精神疾患診療体制加算1、2
・急性期看護補助体制加算(夜間急性期看護補助体制加算)	・排尿自立支援加算
・急性期看護補助体制加算(夜間看護体制加算)	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算(看護補助体制充実加算)	・救命救急入院料3
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・救命救急入院料3 救急体制充実加算1
・超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算	・救命救急入院料3(小児加算)

・看護補助加算1	・救命救急入院料3(早期離床・リハビリテーション加算)
・看護補助加算(看護補助体制充実加算)	・救命救急入院料3(早期栄養介入管理加算)
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料1
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料1(算定上限日数に係る施設基準)
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料1(小児加算)
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料1(早期離床・リハビリテーション加算)
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による治療の場合)	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2(早期離床・リハビリテーション加算)
・精神科身体合併症管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・依存症入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(成育連携支援加算)
・がん診療連携拠点病院加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・がん拠点加算1イ がん診療連携拠点病院	・小児入院医療管理料2
・がん拠点加算2 小児がん拠点病院	・小児入院医療管理料2(注2に規定する加算(プレイルーム保育士2名以上の場合))
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2(無菌治療管理加算)
・栄養サポートチーム加算(歯科医師連携加算)	・小児入院医療管理料2(養育支援体制加算)
・医療安全対策加算1	・入院時食事療養/生活療養()
・感染対策向上加算1	・看護職員処遇改善評価料60

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・口腔細菌定量検査	・網膜再建術
・歯科口腔リハビリテーション ²	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・人工中耳植込術
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・植込型骨導補聴器移植術
・手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・植込型骨導補助器交換術
・歯周組織再生誘導手術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術(拡大副鼻腔手術)
・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・印象採得 歯科技工士連携加算1	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・光学印象 光学印象歯科技工士連携加算	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・咬合採得 歯科技工士連携加算1	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
・仮床試適 歯科技工士連携加算1	・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)
・歯科技工加算	及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・歯科外来・在宅ベースアップ評価料()	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1、2)
・手術用顕微鏡加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・外来栄養食事指導料	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・外来栄養食事指導料(注2に規定する施設基準)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来栄養食事指導料(注3に規定する施設基準)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心臓ペースメーカー指導管理料	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・高度難聴指導管理料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・糖尿病合併症管理料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)

・がん性疼痛緩和指導管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合) (区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・移植後患者指導管理料	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・糖尿病透析予防指導管理料	・内視鏡による縫合術・閉鎖術
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	【食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの),
・婦人科特定疾患治療管理料	内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術,
・腎代替療法指導管理料	胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・一般不妊治療管理料	小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・生殖補助医療管理料1	結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来放射線照射診療料	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来腫瘍化学療法診療料1	尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来腫瘍化学療法診療料 注6連携充実加算	膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来腫瘍化学療法診療料 がん薬物療法体制充実加算	膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)]
・開放型病院共同指導料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ハイリスク妊産婦共同管理料()	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・がん治療連携計画策定料	・胸腔鏡下弁形成術
・認知症専門診断管理料	・経カテーテル弁置換術(頸心尖大動脈弁置換術)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経カテーテル弁置換術(経皮的動脈弁置換術)
・外来排尿自立指導料	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・ハイリスク妊婦連携指導料1・2	・胸腔鏡下弁置換術
・こころの連携指導料()	・経皮的僧帽弁クリップ術
・薬剤管理指導料	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるものに限る)
・診療情報提供料()	・経皮的中隔心筋焼灼術
・診療情報提供料() 注16地域連携診療計画加算	・ペースメーカー移植術
・診療情報提供料() 注18検査・画像情報提供加算	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・電子的診療情報提供料	・ペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料1	・両心室ペースメーカー移植術
・救急患者連携搬送料	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)
・在宅血液透析指導管理料	・両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)
・持続血糖測定器加算	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの)
・遺伝学的検査	・植込型除細動器移植術(皮下植込型リードを用いるもの)
・染色体検査 注2絨毛染色体検査	・植込型除細動器交換術(その他のもの)
・骨髄微小残存病変量測定	・植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・BRCA1/2遺伝子検査	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術(心筋電極の場合)
・がんゲノムプロファイリング検査	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)

・特殊分析(先天性代謝異常症検査)	・両室ペースング機能付埋込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・自己抗体検査(抗HLA抗体(スクリーニング検査))	・両室ペースング機能付埋込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・自己抗体検査(抗HLA抗体(抗体特異性同定検査))	・経静脈電極抜去術
・HPV核酸検出	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・補助人工心臓
・微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・経皮的下肢動脈形成術
・検体検査判断料(検体検査管理加算()())	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・検体検査判断料(国際標準検査管理加算)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・検体検査判断料(遺伝カウンセリング加算)	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・検体検査判断料(遺伝性腫瘍カウンセリング加算)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・心臓カテーテル法による諸検査(血管内視鏡検査加算)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・シャトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・超音波検査(胎児心エコー法)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・脳波検査判断料1	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・神経学的検査	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・全視野精密網膜電図	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・黄斑局所網膜電図	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下肝切除術(部分切除、外側区域切除)
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、
・内服・点滴誘発試験	2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・センチネルリンパ節生検(併用法)	・生体部分肝移植術
・経頸静脈的肝生検	・同種死体肝移植術
・前立腺生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・経気管肺生検法(CT透視下気管支鏡検査加算)	・腹腔鏡下膵中央切除術
・画像診断管理加算1, 4	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く)
・ポジトロン断層撮影	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・腹腔鏡下痔頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く)
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下痔頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CT撮影(冠動脈CT撮影加算)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CT撮影(外傷全身CT加算)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・MRI撮影(心臓MRI撮影加算)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・MRI撮影(乳房MRI撮影加算)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・MRI撮影(頭部MRI撮影加算)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切断術)内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・MRI撮影(肝エラストグラフィ加算)	・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
・処方料(抗悪性腫瘍処方管理加算)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・無菌製剤処理料1	・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・心大血管疾患リハビリテーション料()	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・脳血管疾患等リハビリテーション料()	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・運動器リハビリテーション料()	・同種死体腎移植術
・呼吸器リハビリテーション料()	・生体腎移植術
・摂食機能療法(摂食嚥下機能回復体制加算2)	・膀胱水圧拡張術 ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・がん患者リハビリテーション料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・通院・在宅精神療法 療養生活継続支援加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・認知療法・認知行動療法	・人工尿道括約筋植込・置換術
・精神科ショート・ケア(小規模なもの)	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
・精神科デイ・ケア(小規模なもの)	・埋没陰茎手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料2(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料)	・陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・医療保護入院等診療料	・精巣内精子採取術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
・硬膜外自家血注入	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工腎臓(導入期加算3)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・人工腎臓(透析液水質確保加算2)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・血漿交換療法(難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法)	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術 ・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する)
・血管交換療法(移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ストーマ処置 ストーマ合併症加算	・臍帯穿刺
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・体外式模型人工肺管理料
・皮膚移植術(死体)	・輸血管理料()
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)[一次再建・二次再建]	・輸血管理料(貯血式自己血輸血管理体制加算)
・処理骨再建加算 【四肢・躯幹部悪性腫瘍手術 骨悪性腫瘍手術】	・自己生体組織接着剤作成術 ・同種クリオプレシビート作製術 ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	・胃瘻造設時嚥下評価機能加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))	・麻酔管理料 ・麻酔管理料(周術期薬剤管理加算)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・麻酔管理料
・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	・放射線治療管理料(放射線治療専任加算)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・放射線治療管理料(外来放射線治療加算)
・椎間板摘出術(椎間板内酵素注入療法)	・体外照射(1回線量増加加算(全乳房照射))
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・体外照射(画像誘導放射線治療加算(IGRT))
・緊急穿頭血腫除去術	・体外照射(体外照射呼吸性移動対策加算)
・頭蓋内腫瘍摘出術 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・体外照射(高エネルギー放射線治療)
・内視鏡下脳腫瘍生検術	・体外照射(強度変調放射線治療(IMRT))
・内視鏡下脳腫瘍摘出術	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
・脳刺激装置交換術	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・密封小線源治療(画像誘導密封小線源治療加算)
・脊髄刺激装置植込術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・脊髄刺激装置交換術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・病理診断料(デジタル病理画像による病理診断)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・病理診断料(病理診断管理加算2)
・羊膜移植術	・病理診断料(悪性腫瘍病理組織標本加算)
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	・看護職員処遇改善評価料
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・外来・在宅ベースアップ評価料()

・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)

・入院ベースアップ評価料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	180回/年	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	16例
	剖検率(%)	3.9%

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

Micro CTによる先天性心疾患の高精細3Dアトラス作成と心内組織三次元可視化	山崎誉斗	医学部附属病院	1,512,076	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
多層プロテオーム解析による新規肺非腺癌治療法の開発	川口晃司	医学部附属病院	980,328	委 補	独立行政法人日本学術振興会
エキソソームPD-L1が敗血症性免疫麻痺を誘導するメカニズムの解明	川本英嗣	医学部附属病院	1,410,761	委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧発症における内皮選択的ずり応力反応転写因子ATO9の役割	三谷義英	医学部附属病院	100,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
インテグリン・ターゲティングによる新型コロナウイルス誘導性ARDSの治療法開発	今井寛	医学部附属病院	2,493,265	委 補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚揮発性物質分析による農薬中毒の診断法の実用化	川本英嗣	医学部附属病院	300,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
コンピューター数値流体力学解析および動的造影MRIによる脳動脈瘤の壁性状の検討	三浦洋一	医学部附属病院	700,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
運動器廃用性疼痛動物モデルを用いた免疫応答制御による疼痛メカニズムの探求	若林弘樹	医学部附属病院	1,000,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
癌関連線維芽細胞の形質転換による前立腺癌の進展制御	佐々木豪	医学部附属病院	900,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
リンパ系に着目した成体イモリの組織再生機構の解明	白石真土	医学部附属病院	1,178,651	委 補	独立行政法人日本学術振興会
PDE1を分子標的とした口腔悪性黒色腫新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	1,193,968	委 補	独立行政法人日本学術振興会
地域圏統合型医療情報データベースを活用したコード造影剤の安全使用に係る提言	兼児敏浩	医学部附属病院	2,102,793	委 補	独立行政法人日本学術振興会
多職種で取り組むこどものセルフケアに着目した在宅支援モデルの構築	河俣あゆみ	医学部附属病院	200,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
細胞膜透過性亢進を利用した腫瘍凍結療法の新規技術開発	藤森将志	医学部附属病院	1,388,081	委 補	独立行政法人日本学術振興会
胸部X線透視動画解析ソフトを活用した新たな肺血栓栓症診断アルゴリズムの確立	荻原義人	医学部附属病院	2,543,465	委 補	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血後の早期脳損傷における上皮成長因子受容体の役割の解明	中野英美	医学部附属病院	900,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
機械学習を用いてBRVOの治療予後を黄斑部OCT画像から予測する	松井 良論	医学部附属病院	320,668	委 補	独立行政法人日本学術振興会
医療的ケアが昼夜必要な在宅療養児の養育者の生活に即した地域包括支援システムの構築	岩本彰太郎	医学部附属病院	500,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
科学的介護情報システムを用いた包括的介護サービス研究	百崎良	医学部附属病院	1,300,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
新型コロナウイルス感染症拡大が出生率に及ぼす影響と子育て支援に関する探索的研究	池田若葉	医学部附属病院	667,443	委 補	独立行政法人日本学術振興会
高精度で迅速なAI病理診断システムの社会実装に向けた多施設共同研究	石飛真人	医学部附属病院	50,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
小児急性骨髄性白血病に対する免疫学的アジュバント療法の探索的研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	954,892	委 補	独立行政法人日本学術振興会
脾癌進展の病態伝播を担う細胞外小胞の機能解明 臨床応用を目指して	坪井順哉	医学部附属病院	1,409,229	委 補	独立行政法人日本学術振興会
胆汁酸を起点とした肝筋関連の解明と肝性サルコペニアの診断・治療	岩佐元雄	医学部附属病院	930,694	委 補	独立行政法人日本学術振興会
MR関連高血圧症による心不全発症メカニズムの解明	岡本隆二	医学部附属病院	1,134,409	委 補	独立行政法人日本学術振興会
透析患者における冠動脈形成術後の至適抗血小板薬投与期間と炎症マーカーとの関連	栗田泰郎	医学部附属病院	1,099,993	委 補	独立行政法人日本学術振興会
酪酸産生菌によるウイルス性呼吸器感染症に対する治療効果の検討とその作用機序の解明	加藤秀雄	医学部附属病院	100,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
Epigenetic Driftの概念による大腸癌RNAメチル化指標の開発	奥川喜永	医学部附属病院	1,995,800	委 補	独立行政法人日本学術振興会
心停止後症候群におけるPD-L1を介した免疫機能制御不全の分子メカニズムの解明	池尻薫	医学部附属病院	3,000,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺炎・腎不全・関連ICUせん妄の予測AIモデルの開発とフィジビリティ検証	新貝達	医学部附属病院	2,700,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
多血小板血漿由来エクソソームを用いた椎間板再生治療の開発	明田浩司	医学部附属病院	1,713,749	委 補	独立行政法人日本学術振興会
胎児の脳損傷を予防するための心拍細変動解析による分娩監視指標の開発	真川祥一	医学部附属病院	1,233,303	委 補	独立行政法人日本学術振興会
分娩時胎児酸素化能改善を目的とした母体へのタグラフィル投与の安全性についての検証	田中博明	医学部附属病院	1,155,535	委 補	独立行政法人日本学術振興会

小計

38 件

58,439,570 円

頭頸部癌の化学放射線療法の効果高め、有害事象を抑制する新規抗miR-21療法	石永一	医学部附属病院	1,070,940	(補)	独立行政法人日本学術振興会
cAMP-PDE2シグナル伝達の区画化の概念による悪性黒色腫の新たな治療方法	村田琢	医学部附属病院	1,308,709	(補)	独立行政法人日本学術振興会
COVID-19によるパンデミック後の新興感染症対策の再構築にかかる研究	田辺正樹	医学部附属病院	1,806,329	(補)	独立行政法人日本学術振興会
誤嚥性肺炎の経験的治療におけるセフトリアキソンの有効性および至適投与法の探索	加藤秀雄	医学部附属病院	1,200,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
マルチパラメトリックMRI解析による小児脳腫瘍の診断と治療効果判定の有用性の検討	小久江良太	医学部附属病院	700,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
ホスホジエステラーゼ5阻害薬：タダラフィル投与による胎児発育改善のメカニズム解明	真木晋太郎	医学部附属病院	1,600,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
妊婦および新生児サイトメガロウイルススクリーニング体制の両立に向けた研究	鳥谷部邦明	医学部附属病院	1,136,513	(補)	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫と転写因子の関連性を介したB型肝炎ウイルス新規治療法の開発	為田雅彦	医学部附属病院	2,300,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
半月板損傷における多血小板フィブリンの効果とその分子学的メカニズムの解明	千賀佳幸	医学部附属病院	1,706,258	(補)	独立行政法人日本学術振興会
除去されたPS型脛骨インサートにおけるpostの損傷メカニズムと酸化劣化の解析	刀根慎恵	医学部附属病院	3,131,046	(補)	独立行政法人日本学術振興会
男性不妊治療改善に向けた細胞外耐凍剤と抗酸化化合物が凍結精子に与える影響の解明	前沢忠志	医学部附属病院	1,408,400	(補)	独立行政法人日本学術振興会
Th1/Th2バランスをターゲットとしたPDE5阻害薬による流産改善効果の検証	高山恵理奈	医学部附属病院	1,020,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
タダラフィル母体投与が胎児発育不全児の神経学的予後を改善するメカニズムの解明	二井理文	医学部附属病院	1,347,350	(補)	独立行政法人日本学術振興会
入院関連能力障害に対する包括的予防戦略の確立	百崎良	医学部附属病院	1,780,655	(補)	独立行政法人日本学術振興会
こどもの生活と発達への「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	河俣あゆみ	医学部附属病院	250,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
DOACがもたらすHMGB1-HIFシグナルに注目した革新的HCC制御機構	野口大介	医学部附属病院	354,239	(補)	独立行政法人日本学術振興会
心腎連関に基づいた高齢心不全患者における抗不整脈薬の新たな投与量設計法の確立	朝居祐貴	医学部附属病院	583,533	(補)	独立行政法人日本学術振興会
リアルワールドデータの研究活用から薬事承認申請活用への発展	萩原宏美	医学部附属病院	1,357,271	(補)	独立行政法人日本学術振興会
尿細管トランスポーターを介したミロガリンとプロトンポンプ阻害薬の相互作用評価	濱口直美	医学部附属病院	370,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
バリシチニブとラソプラゾールの薬物間相互作用に関する研究	平松駿一	医学部附属病院	460,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
フローサイトメトリー法を用いた抗体医薬品の一斉測定法の新規開発と臨床応用	岩本卓也	医学部附属病院	1,000,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
幹細胞様メモリーT細胞分画に優れる-T細胞の誘導法の検討	石原幹也	医学部附属病院	700,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
Pan-neuro-glial networkにおける抗精神病薬の作用と有害反応機序の探索	福山孝治	医学部附属病院	1,400,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
パンデミック期間中における自殺特性変化の計量経済学的解析	松本龍介	医学部附属病院	1,200,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
新規プレバルス抑制パラダイムの確立と臨床応用	元村英史	医学部附属病院	50,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
画像解析技術を用いた脾臓の局所組織性状を反映した画像診断mapの開発	永田幹紀	医学部附属病院	1,250,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
ポリウムメトリー、肝線維化指標及び肝細胞機能の総合的画像診断法の開発と臨床応用	市川泰崇	医学部附属病院	1,500,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
AFP陽性細胞をターゲットとした新規NASH治療戦略の構築	川村聡	医学部附属病院	1,800,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
Neutrophil extracellular traps (NETs)を介した大腸癌進展の新たな機序解明	安田裕美	医学部附属病院	1,000,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
Neutrophil extracellular traps (NETs)を介した食道癌進展の新たな機序の解明	森本雄貴	医学部附属病院	700,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
胃癌腹膜播種に特異的な非侵襲的DNAメチル化マーカーの開発と精度の検証	志村匡信	医学部附属病院	1,700,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
肺移植における熱ショックタンパク質を用いたドナー肺長時間保存法の確立	島本亮	医学部附属病院	1,500,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
トヘモグロビン血症がマクロファージエキソソームを誘導してICUせん妄を引き起こす	羽根敦也	医学部附属病院	900,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会
ECMO管理における感染症早期診断指標の確立：血液凝固波形解析からの検討	鈴木圭	医学部附属病院	1,300,000	(補)	独立行政法人日本学術振興会

小計

41件

53,888,873円

アミノレブリン酸を用いた骨軟部肉腫に対する光線および放射線力学的療法	中村知樹	医学部附属病院	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
イモリの再生における免疫・神経の機能解明	相野可南子	医学部附属病院	1,200,000	委 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	川口晃司	医学部附属病院	20,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	奥川喜永	医学部附属病院	20,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
急性期脳卒中患者の下肢に対する神経筋電気刺激の有効性	山本吉則	医学部附属病院	800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肝予備能・線維化指標を活用した免疫抑制薬の至適投与量を予測する母集団薬物動態解析	平井利典	医学部附属病院	700,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
正常膵臓及び膵癌の糖代謝における解糖系振動と関連遺伝子の検証	白杵恵梨	医学部附属病院	700,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病におけるアミロイド関連画像異常の病態解明と治療の開発	松山裕文	医学部附属病院	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
細菌由来ベプトドの細胞死および線維化誘導メカニズムの解明	岡野優子	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
骨転移病変CADEシステムおよびCADxシステムの開発	蟹井善統	医学部附属病院	1,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
改変マウスを用いた肺線維症における肺内細菌叢由来の細胞死誘導因子の役割の検討	都丸敦史	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
遊離型ヘモグロビンの無毒化による出血性脳卒中後の続発性脳損傷抑制法の開発	川北 文博	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血後早期脳損傷におけるグルタミン酸受容体の役割に関する研究	岡田健	医学部附属病院	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
多孔質媒体を用いた数値流体力学による、脳動脈瘤に対する血管内治療効果予測	辻正範	医学部附属病院	700,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
悪性脳腫瘍における尿中バイオマーカーを利用した再発早期発見システムの開発	北野詳太郎	医学部附属病院	1,500,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
妊娠高血圧腎症の発症抑制法の開発－疾患モデルマウスを用いた基礎的検討	田中佳世	医学部附属病院	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肝癌進展を担う脂質や過酸化脂質の機能解明 分岐鎖アミノ酸による肝癌治療を目指して	玉井康将	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
科学的介護情報システムを用いた包括的介護サービス研究	百崎良	医学部附属病院	2,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
感染症予防計画のフォローアップ及び感染症指定医療機関の施設基準の見直しの検討に資する研究	田辺正樹	医学部附属病院	27,000,000	補 委 補	厚生労働省
新型インフルエンザ発生時における疾病負荷の把握のための研究	田辺正樹	医学部附属病院	800,000	補 委 補	厚生労働省
小児から成人の消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の医療水準とQOL向上のための研究	小池勇樹	医学部附属病院	100,000	補 委 補	厚生労働省
先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたるQOL 改善のための総合的研究	三谷義英	医学部附属病院	500,000	補 委 補	厚生労働省
小児がん患者在宅以降の円滑化促進と在宅医療における課題とニーズ把握のための研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	400,000	補 委 補	厚生労働省
生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究	百崎良	医学部附属病院	260,000	補 委 補	厚生労働省
HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究	松本剛史	医学部附属病院	1,500,000	補 委 補	厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究 サバイバーシップ向上を志向して	前沢忠志	医学部附属病院	2,000,000	補 委 補	厚生労働省
医療デジタルトランスフォーメーション時代の重層的な感染症サーベイランス体制の整備に向けた研究	田辺正樹	医学部附属病院	3,050,000	補 委 補	厚生労働省
感染症危機対応医薬品等(MCM)の利用可能性確保の方針検討に資する研究	田辺正樹	医学部附属病院	51,300,000	補 委 補	厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	百崎良	医学部附属病院	400,000	補 委 補	厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	清水美帆	医学部附属病院	400,000	補 委 補	厚生労働省
関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準の向上に関する研究	中島亜矢子	医学部附属病院	90,000	補 委 補	厚生労働省
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3(追跡)	矢野裕	医学部附属病院	200,000	補 委 補	公益財団法人日本糖尿病財団

小計

41 件

65,715,043 円

関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究(PROFILE-J: PROspective sarilumab (preFILLed syringe/pen) obsErvational study - Japan)	中島亜矢子	医学部附属病院	220,003	補 委 補	産業医科大学・IQVIAサービ シーズジャパン株式会社
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究(PROFILE-J: PROspective sarilumab (preFILLed syringe/pen) obsErvational study - Japan)	若林弘樹	医学部附属病院	521,307	補 委 補	産業医科大学・IQVIAサービ シーズジャパン株式会社
担がん患者に合併した静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬リバーロキサパン治療の前向き臨床研究(PRIMECAST)	荻原義人	医学部附属病院	423,100	補 委 補	学校法人国際医療福祉大学
ST上昇型急性心筋梗塞に対するエキシマレーザ-冠動脈形成術が心筋サルベージに与える影響 英語名: [LAST-PASS] Laser Atherectomy for STemi, Pci Analysis with Scintigraphy Study and cardiac mri	栗田泰郎	医学部附属病院	126,925	補 委 補	学校法人東海大学
高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第2相試験: CJLSG1902	小林哲	医学部附属病院	169,231	補 委 補	独立行政法人国立病院機構名 古屋医療センター
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	三谷義英	医学部附属病院	119,226	補 委 補	国立大学法人東京医科歯科大学
がん合併の低リスク肺塞栓症患者の最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究 (ONCO PE試験)	荻原義人	医学部附属病院	369,232	補 委 補	国立大学法人京都大学
日本における免疫性血小板減少性紫斑病 (iTTP) の前向きレジストリ研究 - Japan iTTP Registry Study (JITS) -	松本剛史	医学部附属病院	42,308	補 委 補	公立大学法人奈良県立医科大 学
固形がん患者及び血縁者における生殖細胞系列遺伝子変異同定の有用性を評価する観察研究 (BRANCH study)	奥川喜永	医学部附属病院	153,848	補 委 補	国立研究開発法人国立がん研 究センター
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症 (CADASIL) 患者を対象としたアドレノメデュリン静注療法による安全性および有効性に関する多施設共同単群試験	富本秀和	医学部附属病院	500,000	補 委 補	国立研究開発法人国立循環器 病研究センター
サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン開発研究	百崎良	医学部附属病院	1,000,000	補 委 補	国立研究開発法人国立長寿医 療研究センター
川崎病に伴う冠動脈後遺症の成人期の予後と移行医療の実態に関する研究	三谷義英	医学部附属病院	2,466,000	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研 究開発機構
高機能PRP上清の開発: 再生医療への応用	明田浩司	医学部附属病院	3,631,369	補 委 補	国立大学法人東海国立大学機 構
3Dプリント技術を用いた新規肺マッキング法の開発	金田真史	医学部附属病院	2,138,665	補 委 補	国立大学法人東海国立大学機 構
小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究	丹羽香央里	医学部附属病院	1,500,000	補 委 補	国立研究開発法人国立成育医 療研究センター
HIV関連病態である血友病の豊かな未来を目指した画期的治療法・診断法の創出	松本剛史	医学部附属病院	2,000,000	補 委 補	学校法人自治医科大学
令和5年度HIV感染者等保健福祉相談事業	大石晃嗣	医学部附属病院	675,000	補 委 補	公益財団法人エイズ予防財団
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第 相試験	宮崎香奈	医学部附属病院	150,000	補 委 補	国立大学法人山形大学
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導治験の実施	片山鑑	医学部附属病院	1,300,000	補 委 補	国立大学法人東海国立大学機 構
子宮内膜マイクロバイオーム改善のための治療法の確立	高山恵理奈	医学部附属病院	84,615	補 委 補	国立大学法人琉球大学
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補 委 補	国立研究開発法人国立国際医 療研究センター
先天性GPI欠損症に対する新規補充療法の治療効果の検討	平山雅浩	医学部附属病院	597,350	補 委 補	国立大学法人大阪大学
表面処理生体活性化チタン合金の脊椎Pedicle screwの応用に関する研究	明田浩司	医学部附属病院	430,643	補 委 補	株式会社高山医療機械製作 所, 中部大学
認知症患者医療センター運営事業	脳神経内科	医学部附属病院	10,173,460	補 委 補	三重県
令和5年度三重県地域医療支援センターキャリア形成支援事業	岡本隆二	医学部附属病院	44,000,000	補 委 補	三重県
三重県がん登録情報活用事業	がんセンター	医学部附属病院	21,901,000	補 委 補	三重県
肝疾患診療地域連携体制強化事業	池田智明	医学部附属病院	12,350,000	補 委 補	三重県

小計

38 件

167,443,282 円

肝炎情報センター戦略的強化事業	池田智明	医学部附属病院	2,500,000	補 委 補	三重県
がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	がんセンター	医学部附属病院	1,903,000	委 補 委	三重県
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業(妊産婦)	池田智明	医学部附属病院	3,651,120	補 委 補	三重県
三重県医療的ケア児・者相談支援センター本部事業業務	岩本彰太郎	医学部附属病院	7,547,000	補 委 補	三重県
難病医療ネットワーク整備事業	池田智明	医学部附属病院	4,586,368	補 委 補	三重県
感染対策ネットワーク事業	田辺正樹	医学部附属病院	2,081,900	補 委 補	三重県
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務委託	大石晃嗣	医学部附属病院	713,000	補 委 補	三重県
看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業	池田智明	医学部附属病院	910,800	補 委 補	三重県
令和5年度慢性疼痛診療システム均てん化事業	賀来隆治	医学部附属病院	2,400,000	補 委 補	公立大学法人名古屋市立大学
令和5年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	平田佳寛	医学部附属病院	338,462	補 委 補	公益社団法人三重県医師会
三重県病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	脳神経内科	医学部附属病院	910,000	補 委 補	三重県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	40,930,000	補 委 補	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	25,000,000	補 委 補	厚生労働省
三重県新人看護職員研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,893,000	補 委 補	三重県
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	池田智明	医学部附属病院	6,480,000	補 委 補	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	澤田博文	医学部附属病院	16,060,000	補 委 補	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	池田智明	医学部附属病院	1,413,000	補 委 補	三重県
がんゲノム診療連携拠点病院事業	池田智明	医学部附属病院	20,000,000	補 委 補	厚生労働省
周産期新生児科指導医育成事業	池田智明	医学部附属病院	12,000,000	補 委 補	三重県
麻酔科専門医等育成事業	池田智明	医学部附属病院	5,450,000	補 委 補	三重県
津市こども救急教育事業	鈴木圭	医学部附属病院	200,000	補 委 補	津市
アピランス支援モデル事業	がんセンター	医学部附属病院	2,500,000	補 委 補	厚生労働省
がん遠隔手術支援等環境整備事業	池田智明	医学部附属病院	6,050,000	補 委 補	三重県
産婦人科・小児科専門医確保対策事業	池田智明	医学部附属病院	190,000	補 委 補	三重県
看護師の特定行為に対する研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,208,000	補 委 補	厚生労働省
臨床研修事業(医師)	池田智明	医学部附属病院	1,304,182	補 委 補	三重県
救急救命士病院実習受入促進事業補助金	池田智明	医学部附属病院	150,000	補 委 補	三重県
救急患者退院コーディネーター事業	池田智明	医学部附属病院	1,147,000	補 委 補	三重県
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	412,562	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
味細胞情報伝達機構の可逆的障害による味覚障害発症メカニズムの解明	西田幸平	医学部附属病院	99,431	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
フィリピンの大規模台風被災地における疾病再興対策にかかわる継続的水環境評価	翠川裕	医学系研究科	400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
就労と治療の両立に関する労働者用リテラシー教育方略の開発と教育効果の測定	市川周平	医学系研究科	3,241,610	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
病原細菌エフェクターによるNF- B経路を標的とした感染機構の解析	谷一寿	医学系研究科	100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
逐次近似法再構成冠動脈CTが臨床転帰に与える影響に関する多施設無作為化比較試験	北川覚也	医学系研究科	55,600	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
高解像3次元脳MRIを用いた脳小血管病の血管周囲腔定量評価法の開発	前田正幸	医学系研究科	584,089	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会

早期肺腺癌のCT画像におけるAI(人工知能)補助診断の有用性検証	高尾仁二	医学系研究科	502,221	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
テネニンC・シンデカン4・フィブロネクチンの軟骨に対する作用とシグナル伝達機構	長谷川正裕	医学系研究科	600,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞後の麻痺回復とO-GlcNAc修飾を基盤とした脳内分子機構の解明	脇田英明	医学系研究科	133,615	委 補	独立行政法人日本学術振興会
マウス胚性幹細胞から誘導したミュー管細胞の機能性評価と子宮再生機序の解明	武内大輝	医学系研究科	550,788	委 補	独立行政法人日本学術振興会
心臓MRIテクスチャ解析によるがん治療関連心筋傷害早期診断バイオマーカーの開発	中森史朗	医学系研究科	6,577,767	委 補	独立行政法人日本学術振興会
がん分子標的薬のOncocardiology研究	田中利男	医学系研究科	100,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
リン脂質のリポクオリティ変化からNASHの病態を解き明かす	中川勇人	医学系研究科	3,700,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
薬効評価と治療シース探索可能なゼブラフィッシュ膀胱癌組織異種移植モデルの臨床応用	井上貴博	医学系研究科	5,200,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳低灌流状態でのアディポカインバランスの変化の解明	脇田英明	医学系研究科	1,941,036	委 補	独立行政法人日本学術振興会
Dual-sequence法による3テスラ負荷心筋血流MRI定量解析法の検証	佐久間肇	医学系研究科	757,100	委 補	独立行政法人日本学術振興会
5D-GRASP法を用いた3テスラ造影冠動脈MRAの画像再構成に関する研究	石田正樹	医学系研究科	500,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
ポリオウイルスを用いた神経芽腫の新しい治療の研究	豊田秀実	医学系研究科	2,478,379	委 補	独立行政法人日本学術振興会
細胞系譜解析を用いたZone3肝細胞の肝障害時の挙動と発癌起源としての可能性	中川勇人	医学系研究科	600,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸乳頭部癌マウスモデルの樹立と幹細胞ニッチ・起源細胞解明	中川勇人	医学系研究科	400,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
腎組織SGLT2とAT1R-NHE3経路の相互作用による心不全進展機序の解明	土肥薫	医学系研究科	1,208,603	委 補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚における警報因子活性化システムの探索	山西清文	医学系研究科	1,333,355	委 補	独立行政法人日本学術振興会
急性GVHDとサイトカイン放出症候群の免疫病態に着目した輸注リンパ球制御法の開発	依功	医学系研究科	1,129,375	委 補	独立行政法人日本学術振興会
HLA半合致移植では、患者とドナーが共有しない方のHLA拘束性T細胞は存在するか	藤原弘	医学系研究科	330,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
小児IBD患者における腸管Organoid移植	松下航平	医学部附属病院	2,940,860	委 補	独立行政法人日本学術振興会
バイオマーカーに基づくMAGE-A4 / CAR-T細胞作製による食道癌の免疫療法	影山慎一	医学系研究科	1,000,600	委 補	独立行政法人日本学術振興会
microRNAを活用した治療抵抗性肝癌患者に対する個別化医療	水野修吾	医学系研究科	1,079,785	委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム、エピゲノム統合解析による低侵襲潰瘍性大腸炎癌化リスク診断法の開発	問山裕二	医学系研究科	2,706,160	委 補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌合併潰瘍性大腸炎の治療方針を規定するマーカーの開発	山本晃	医学系研究科	2,974,693	委 補	独立行政法人日本学術振興会
術後遷延痛における脊髄グルタミン酸トランスポーターの役割に関する検討	賀来隆治	医学系研究科	500,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧発症における内皮選択的ずり応力反応転写因子ATO8の役割	澤田博文	医学部附属病院	1,000,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブル端末を用いた労働者運動器検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	1,648,385	委 補	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する低侵襲クルクミン経口療法確立のための基礎研究	小林正佳	医学系研究科	2,429,020	委 補	独立行政法人日本学術振興会
一般市民の人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)を支援する取り組みとその評価	松原貴子	医学部附属病院	70,460	委 補	独立行政法人日本学術振興会
高齢者施設における写メを利用した食事調査ならびに健康管理システムの構築	西村明展	医学系研究科	300,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳虚血が脳アミロイド血管症に及ぼす無菌性炎症とアミロイド排出障害の解明	石川英洋	医学系研究科	1,568,935	委 補	独立行政法人日本学術振興会
トロンボモジュリンによる進行期の糖尿病性腎症の抑制	竹下敦郎	医学部附属病院	1,100,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療への多血小板血漿の応用	山田淳一	医学系研究科	897,925	委 補	独立行政法人日本学術振興会
次世代型個別化TCR-T療法の確立に向けた基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	4,300,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞を用いた難治性気管支拡張症の新規診断法の確立と治療法の開発	竹内万彦	医学系研究科	1,500,000	委 補	独立行政法人日本学術振興会
光合成細菌由来コア光捕集複合体の光エネルギー変換最適化の構造基盤解明	谷一寿	医学系研究科	780,386	委 補	独立行政法人日本学術振興会
代謝改変によるCAR-T細胞療法の有効性向上の試み	三輪 啓志	医学系研究科	1,127,992	委 補	独立行政法人日本学術振興会

小計

41 件

182,874,515 円

線毛機能不全症候群の診断精度向上に資する研究	竹内万彦	医学系研究科	960,726	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する高用量IgG療法確立のための基礎研究	石神瑛亮	医学部附属病院	1,045,922	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
低侵襲、低ノイズ、短時間化が可能な次世代小型ERG装置の開発と自動診断の試み	近藤峰生	医学系研究科	810,788	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
眼科領域のオンライン診療推進に関連する課題克服をめざして	生杉謙吾	医学系研究科	896,715	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
黄斑浮腫の形成と進行における血液凝固系因子が果たす機序の解明	近藤峰生	医学系研究科	52,505	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
顔面神経のtopographyを再建する新しい手術式の開発	成島三長	医学系研究科	50,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
直腸がん患者の低位前方切除後症候群の回復への多職種協働支援プログラム構築	問山裕二	医学系研究科	80,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷動物実験モデルを用いたオステオポンチンの神経保護作用の解明	浅田玲緒尚	医学系研究科	700,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
遠隔での嚥下機能評価手法の確立と嚥下機能訓練の実行可能性の検討	松田佳奈	医学系研究科	2,312,425	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
がんに対する同種 CAR -T細胞療法実用化を阻害するボトルネックに挑む	藤原弘	医学系研究科	5,136,020	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
hybrid-TCR法によるがん治療法の検討	赤堀泰	医学系研究科	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
認知症における超微形態特異的な重合分子モデルの開発	田中稔久	医学系研究科	400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
核内輸送受容体タンパク質の新規遺伝子制御機能を標的にしたNASH肝臓治療法の開発	江口暁子	医学部附属病院	1,200,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア機能と心筋内中性脂肪に着目した新たな薬剤性心筋障害の早期診断法	中森史朗	医学系研究科	2,800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
NK/T細胞リンパ腫の国際間病態比較と治療の最適化	山口素子	医学系研究科	800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血予防のレジストリーコホートと転帰改善のランダム化比較試験研究	富本秀和	医学系研究科	40,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
幾何学的因子と血流の時間的空間的複雑性の定量による頸動脈狭窄症進行機序の解明	鈴木秀謙	医学系研究科	1,100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
コロナ禍が高齢者の運動器疾患・ロコモ・要介護に与えた影響	須藤啓広	医学系研究科	1,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ヒトIPS細胞からミューラー管様上皮細胞を経由した子宮内膜間質細胞への分化機序の解明	武内大輝	医学系研究科	1,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
日本版ポジティブヘルス：新しい健康概念の構築と有用性の検証	若林英樹	医学系研究科	50,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	問山裕二	医学系研究科	50,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
予防・健康行動を支援するための慢性疲労バイオマーカーの数値化研究	江口暁子	医学部附属病院	800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
人工神経におけるSchwann細胞スフェロイド技術の応用	片岡武史	医学系研究科	800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
次世代型個別化TCR-T療法の確立に向けた基礎研究	宮原慶裕	医学系研究科	4,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
がんに対する同種 CAR -T細胞療法実用化を阻害するボトルネックに挑む	藤原弘	医学系研究科	5,600,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
治験を目的とした、成人発症白質脳症のレジストリーと評価方法に関する研究	富本秀和	医学系研究科	2,000,000	補 委 補	厚生労働省
小児がん拠点病院・連携病院のQI(Quality Indicators)を評価指標として	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補 委 補	厚生労働省
乳幼児期に重度視覚障害をきたす難病の遺伝学的診断と長期的	近藤峰生	医学系研究科	600,000	補 委 補	厚生労働省
妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	池田智明	医学系研究科	150,000	補 委 補	厚生労働省
認知症の遠隔医療およびケア提供を促進するための研究	新堂晃大	医学系研究科	2,000,000	補 委 補	厚生労働省
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	補 委 補	厚生労働省
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの	賀来隆治	医学系研究科	400,000	補 委 補	厚生労働省
突発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	補 委 補	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	近藤峰生	医学系研究科	14,500,000	補 委 補	厚生労働省
第8次医療計画に向けた周産期センターの集約化・重点化と周産期医療を担当す	池田智明	医学系研究科	1,736,000	補 委 補	厚生労働省

第8次医療計画を見据えた持続可能な地域小児医療体制の構築のための政策研	平山雅浩	医学系研究科	2,500,000	補 委 補	厚生労働省
医薬品の投与により免疫が低下したあるいは低下が予測される患者における至適な	平山雅浩	医学系研究科	5,380,000	委 補	厚生労働省
計画策定又は見直しに向けた統計解析(マルチレベルデータ解析)	岡田元宏	医学系研究科	1,000,000	補 委 補	三重県
抗血栓薬服用患者におけるcnn陽性S. mutans感染と脳内出血発症との関連を検証する多施設共同観察研究(RAMESSES研究)	富本秀和	医学系研究科	16,262	補 委 補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究(JANUSTICE)	土肥薫	医学系研究科	73,856	補 委 補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
膵管自律神経叢の術中可視化を標的としたヒルジスブルグ病の外科治療開発	溝口明	医学系研究科	42,888,800	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学系研究科	1,200,000	補 委 補	国立研究開発法人国立がん研究センター
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死/拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証	土肥薫	医学系研究科	500,000	補 委 補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
抗インターロイキン-6受容体抗体のドラッグリポジショニングで心筋炎を抑制する、周産期心筋症の新規治療法の開発と治験の準備	池田智明	医学系研究科	1,000,000	補 委 補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
マイナポータルと連携した心不全の予防を目的とするPHRアプリを基盤とした健康増進支援サービスの構築	土肥薫	医学系研究科	13,729,858	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
癒合併の下腿限局型深部静脈血栓症に対する最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究(ONCODVT)	土肥薫	医学系研究科	1,057,693	補 委 補	国立大学法人京都大学
PARP阻害薬投与既往を有するプラチナ感受性再発上皮性卵巣癌に対するオラパリブ(リムパーザ®)維持療法の前向き観察研究	近藤英司	医学系研究科	38,462	補 委 補	国立大学法人岡山大学病院
ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立	丹羽香央里	医学系研究科	1,000,000	補 委 補	国立大学法人滋賀医科大学
Registry of contemporary medical management of chronic heart failure with non-reduced ejection fraction in Japan -The PARACLETE study -	土肥薫	医学系研究科	907,559	補 委 補	公立大学法人奈良県立医科大学
日本における関節リウマチ患者の生物学的製剤効果不十分例に対するベフィシチニブへの切り替え効果を調査する後ろ向きチャートレビュー研究	須藤啓広	医学系研究科	12,692	補 委 補	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	新堂晃大	医学系研究科	500,000	補 委 補	京都府公立大学法人
母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究	池田智明	医学系研究科	800,000	補 委 補	学校法人日本大学
令和5年度生活習慣病予防重点プロジェクト事業業務委託	土肥薫	医学系研究科	3,846,154	補 委 補	名張市
AYA世代難治性固形がんに対する新規GD2特異的CAR-T療法の研究開発	藤原弘	医学系研究科	58,792,308	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児・AYA世代の難治性固形がんに対する遺伝子改変T細胞輸注療法の探索	藤原弘	医学系研究科	13,636,364	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
"AFP revisited" -AFP陽性肝細胞の発現シグネチャーを標的とした新規肝再生・発癌抑制療法の開発-	中川勇人	医学系研究科	11,200,000	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
内因性微粒子を介した細胞間情報伝搬経路としてのマクロピノサイトーシスの理解	江口暁子	医学部附属病院	7,500,000	補 委 補	国立研究開発法人 科学技術振興機構
MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第1相治験	宮原慶裕	医学系研究科	75,010,003	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
"次世代型プレジジョンメディスン"を目指したNAFLDの病態解明と臨床応用	中川勇人	医学系研究科	19,200,000	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医薬品等の安全性評価に用いる動物試験代替法の開発、評価及び標準化に関する研究	田中利男	医学系研究科	950,000	補 委 補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細菌叢由来ペプチドに着目した糖尿病における心腎連関メカニズムの解明	安間太郎	医学部附属病院	7,000,000	補 委 補	国立研究開発法人科学技術振興機構
難治性がんを標的とした先端的がん特異的抗体創製基盤技術開発とその医療応用	宮原慶裕	医学系研究科	2,300,000	補 委 補	国立大学法人東北大学
脂肪肝を背景とする代謝関連肝がん発生の病態解明に関する研究	中川勇人	医学系研究科	2,000,000	補 委 補	国立大学法人東京大学
ヒアルロン酸ナノゲルによるポリペプチドの可溶化・生体内輸送機能解析とワクチンへの応用	宮原慶裕	医学系研究科	3,709,620	補 委 補	旭化成株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
クライオ電子顕微鏡によるタンパク質等構造解析と細胞内微細構造観察の支援 -生命科学・創薬研究・国際的人材育成への貢献	谷一寿	医学系研究科	6,110,601	補 委 補	学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

小計

40 件

65,141,219 円

T細胞受容体発現の改善、RS相談、医師主導治験準備	藤原弘	医学系研究科	1,000,000	補 ⑤ 補 ⑤	学校法人自治医科大学	小計
令和5年度予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業業務委託	平山雅浩	医学系研究科	7,569,108	補 ⑤ 委 ⑤	三重県	28 件
令和5年度産婦人科・小児科専門医確保対策事業委託	平山雅浩	医学系研究科	154,675	補 ⑤ 委 ⑤	三重県	283,613,897 円

(注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Akeda K, Yamada J, Takegami N, et al.	整形外科	Evaluation of Central Sensitization Inventory in Patients Undergoing Elective Spine Surgery in a Multicenter Study	Global Spine Journal. 2023 Sep;13(7):1716-1727	Original Article
2	Matsuura Y, Ohno Y, Toyoshima M, et al.	実践基礎看護学	Effects of non-pharmacologic prevention on delirium in critically ill patients: A network meta-analysis	Nursing in Critical Care. 2023 Sep;28(5):727-737	Review
3	Suzuki H.	脳神経外科学	How to Promote Hemoglobin Scavenging or Clearance and Detoxification in Hemorrhagic Stroke	Translational Stroke Research. 2023 Oct;14(5):625-627	Letter
4	Sakaguchi S, Okamoto R, Inoue C, et al.	循環器・腎臓内科学	Associated factors and effects of comorbid atrial fibrillation in hypertensive patients due to primary aldosteronism	Journal of Human Hypertension. 2023 Sep;37(9):757-766	Original Article
5	Yamamoto Y, Mitsui A, Noda K, et al.	リウマチ・膠原病センター	Subcutaneous Panniculitis-like T-cell Lymphoma with a HAVCR2 Mutation Diagnosed after 10 Years of Treatment with Glucocorticoids and Cyclosporine as Lupus Panniculitis	Internal Medicine. 2023 May 15;62(10):1537-1540	Case report
6	Kido K, Yamada R, Maegawa Y, et al.	消化器内科学	Autoimmune Pancreatitis with Massive Ascites and Multiple Pancreatic Cysts Successfully Treated with Prednisolone	Internal Medicine. 2023 May 1;62(9):1299-1304	Case report
7	Inoue M, Uchida K, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科学	Preoperative myopenia and myosteotosis and their impact on postoperative complications in children with inflammatory bowel disease	Surgery Today. 2023 Apr;53(4):483-489	Original Article
8	Saiki R, Murata T, Tsujimoto K, et al.	循環器・腎臓内科学	Three Weeks of Treatment Induced Long-term Remission in a Patient with Micrococcus luteus-related Peritonitis	Internal Medicine. 2023 Apr;201(1):106-113	Case report
9	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Predicting outcomes after total knee arthroplasty using intraoperative knee kinematics measured by navigation	Modern Rheumatology. 2023 Nov 1;33(6):1183-1189	Original Article
10	Suzuki H, Miura Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科学	Effects of New-Generation Antiepileptic Drug Prophylaxis on Delayed Neurovascular Events After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Translational Stroke Research. 2023 Dec;14(6):899-909	Original Article
11	Maezawa T, Takae S, Takeuchi H, et al.	高度生殖医療センター(産科婦人科)	A Nationwide Survey Aimed at Establishing an Appropriate Long-Term Storage and Management System for Fertility Preserving Specimens in Japan	Journal of Adolescent and Young Adult Oncology. 2023 Jun;12(3):450-457	Original Article
12	Kobayashi H, Mori Y, Ahmed S, et al.	環境分子医学	Oxidative DNA Damage by N4-hydroxycytidine, a Metabolite of the SARS-CoV-2 Antiviral Molnupiravir	The Journal of Infectious Diseases. 2023 Apr 26;227(9):1068-1072	Original Article

13	Kitajima T, Okugawa Y, Shimura T, et al.	ゲノム医療部(消化管・小児外科)	Combined assessment of muscle quality and quantity predicts oncological outcome in patients with esophageal cancer	The American Journal of Surgery. 2023 Jun;225(6):1036-1044	Original Article
14	Ishiyama M, Kurita T, Takafuji M, et al.	医学・看護学教育センター(循環器・腎臓内科学)	The cardiac computed tomography-derived extracellular volume fraction predicts patient outcomes and left ventricular mass reductions after transcatheter aortic valve implantation for aortic stenosis	Journal of Cardiology. 2023 May;81(5):476-484	Original Article
15	Ogura T, Shiraiishi C.	臨床研究開発センター	Parameter estimation of Weibull distribution for the number of days between drug administration and early onset adverse event	Journal of Biopharmaceutical Statistics. 2023 May 4;33(3):386-399	Original Article
16	Matsumoto H, Nio K, Kawamura T, et al.	小児看護学	Perceptions of diabetes management among adolescents with type 1 diabetes and their caregivers: development and validation of the Japanese version of the diabetes family responsibility questionnaire	Diabetology International. 2022 Dec 7;14(2):155-164	Original Article
17	Yamawaki M, Katayama K, Fujimoto M, et al.	名張地域医療学(循環器・腎臓内科学)	Bullous Pemphigoid in X-linked Alport Syndrome	Internal Medicine. 2023 Aug 15;62(16):2375-2379	Case report
18	Hamada Y, Katsurahara M, Tanaka K, et al.	消化器・肝臓内科	An unexpected detection by capsule endoscopy (with video)	Gastrointestinal Endoscopy. 2023 Apr;97(4):802-803	Others
19	Mitsui K, Narushima M, Danno K, et al.	形成外科学	Intra-lymphocele microsurgical identification of causative afferent vessels for effective lymphaticovenular anastomosis in lymphocele treatment: A case report	Microsurgery. 2024 Jan;44(1):e31002	Case report
20	Kitaura Y, Nishimura A, Senga Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Locomotive syndrome affects the acquisition of long-term care insurance system certification	Journal of Orthopaedic Science. 2024 Jan;29(1):321-326	Original Article
21	Araki S, Kitagawa K, Kokawa T, et al.	放射線医学	Radiation exposure in cardiac computed tomography imaging in Mie prefecture in 2021	Japanese Journal of Radiology. 2023 Jun;41(6):596-604	Original Article
22	Hirai T, Morikawa Y, Onishi R, et al.	薬剤部	Impact of glycaemic control and CYP3A5 polymorphisms on tacrolimus trough concentrations after adult kidney transplantation	British Journal of Clinical Pharmacology. 2023 Jun;89(6):1852-1861	Original Article
23	Hirai T, Ueda S, Ogura T, et al.	薬剤部	Hyperkalemia by eplerenone or esaxerenone in the presence or absence of clarithromycin in hypertensive patients: a retrospective observational cohort study	Journal of Hypertension. 2023 Apr 1;41(4):580-586	Original Article
24	Miura Y, Toma N, Ichikawa T, et al.	血管ハートセンター(脳神経外科)	A Unique Technique to Adjust Snare Position for Coil Retrieval in Tortuous Vessel During Aneurysm Coil Embolization: A Technical Case Report	World Neurosurgery. 2023 May;173:263-267	Case report
25	Kobayashi T, Yasuma T, Gabazza EC.	呼吸器内科学	Inflammation during Pregnancy Predisposes to Childhood Asthma by Altering Long Noncoding RNA Expression	American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology. 2023 Jun;68(6):599-600	Others
26	Sasaki T, Ebara S, Tatenuma T, et al.	腎泌尿器外科	Prognostic differences among the positive surgical margin locations following robot-assisted radical prostatectomy in a large Japanese cohort (the MSUG94 group)	Japanese Journal of Clinical Oncology. 2023 Apr 29;53(5):443-451	Original Article
27	Ishihara M, Nishida Y, Kitano S, et al.	がん支援センター(腫瘍内科)	A phase 1 trial of NY-ESO-1-specific TCR-engineered T-cell therapy combined with a lymph node-targeting nanoparticulate peptide vaccine for the treatment of advanced soft tissue sarcoma	International Journal of Cancer. 2023 Jun 15;152(12):2554-2566	Original Article

28	Suzuki K, Nagaharu K, Maruyama M, et al.	血液・腫瘍内科学	The experience of flow cytometry for specific antibody against cisplatin-treated red blood cells: A case report	Transfusion. 2023 Apr;63(4):867-871	Case report
29	Kato H, Morikawa Y, Hagihara M, et al.	薬剤部	Investigation of in-line filter replacement intervals for infusion	The Journal of Hospital Infection. 2023 Apr;134:147-152	Original Article
30	Katsurahara M, Umeda Y, Yukimoto H, et al.	光学医療診療部(消化器・肝臓内科)	Gastrointestinal: Small bowel hemangioma with unusual endoscopic findings and complicated with obscure gastrointestinal bleeding	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2023 Sep;38(9):1455	Review
31	Tanemura A, Hayashi A, Maeda K, et al.	肝胆膵・移植外科学	Surgical outcomes of the Frey procedure for chronic pancreatitis: correlation between preoperative characteristics and the histological severity of pancreatic fibrosis	Surgery Today. 2023 Aug;53(8):930-939	Original Article
32	Nakajima H, Kawakita F, Oinaka H, et al.	脳神経外科学	Plasma SPARC Elevation in Delayed Cerebral Ischemia After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Neurotherapeutics. 2023 Apr;20(3):779-788	Original Article
33	Nakamori S, Fujimoto N, Ishida M, et al.	循環器・腎臓内科学	Myocardial extracellular volume in the longitudinal assessment of amyloid burden: a case for caution	European Heart Journal. Cardiovascular Imaging. 2023 Apr 24;24(5):e91	Others
34	Miyashita K, Ii Y, Matsuyama H, et al.	神経病態内科学	Sporadic Myotonic Dystrophy Type 2 in a Japanese Patient	Internal Medicine. 2023 Oct 15;62(20):3027-3031	Case report
35	Murata Y, Maeda K, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科	Efficacy of Reinforced Stapler Versus Hand-sewn Closure of the Pancreatic Stump During Pure Laparoscopic Distal Pancreatectomy to Reduce Pancreatic Fistula	Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques. 2023 Apr 1;33(2):99-107	Original Article
36	Toba S, Sanders SP, Carreon CK.	心臓血管外科	An effective rehydrating formula for reconditioning dried, irreplaceable heart specimens for teaching	Cardiovascular Pathology. 2023 Jul-Aug;65:107528	Original Article
37	Xu Y, Feng G, Yano T, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Characteristic genetic spectrum of primary ciliary dyskinesia in Japanese patients and global ethnic heterogeneity: population-based genomic variation database analysis	Journal of Human Genetics. 2023 Jul;68(7):455-461	Original Article
38	Nishimura A, Nakazora S, Senga Y, et al.	スポーツ整形外科学(運動器外科学・腫瘍集学治療学)	Anatomic Features of Patients With Recurrent Peroneal Tendon Dislocation	The American Journal of Sports Medicine. 2023 Apr;51(5):1312-1318	Original Article
39	Ishikawa H, Shindo A, Mizutani A, et al.	神経病態内科学	A brief overview of a mouse model of cerebral hypoperfusion by bilateral carotid artery stenosis	Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism. 2023 Nov;43(2_suppl):18-36	Review
40	Yamaguchi T, Hayashi R, Hanaki R, et al.	感染制御部(血液内科)	A Pediatric Case of Septic Pulmonary Embolism Caused by Tsukamurella paurometabola	Internal Medicine. 2023 Oct 15;62(20):3069-3073	Case report
41	Asai Y, Ooi H, Sato Y.	薬剤部	Risk evaluation of carbapenem-induced liver injury based on machine learning analysis	Journal of Infection and Chemotherapy. 2023 Jul;29(7):660-666	Original Article
42	Sakuma H.	放射線医学	Myocardial T1 Mapping to Identify Risk of Sudden Death in Heart Failure	Radiology. 2023 May;307(3):e230323	Others

43	Moriwaki K, Kurita T, Hirota Y, et al.	循環器・腎臓内科学	Prognostic Impact of Prehospital Simple Risk Index in Patients With ST-Elevation Myocardial Infarction	Circulation Journal. 2023 Apr 25;87(5):629-639	Original Article
44	Miyazaki K, Sakai R, Iwaki N, et al.	血液内科	Five-year follow-up of a phase II study of DA-EPOCH-R with high-dose MTX in CD5-positive DLBCL	Cancer Science. 2023 Jun;114(6):2689-2691	Original Article
45	Yokota N, Kondo M, Matsushima Y, et al.	皮膚科学	Epstein-Barr virus DNA measurement in skin tumor lesions might be a sensitive diagnostic marker of recurrence in patients with nasal-type extranodal NK/T-cell lymphoma: A case report	The Journal of Dermatology. 2023 Sep;50(9):e285-e286	Case report
46	Kuriyama N, Maeda K, Shinkai T, et al.	肝胆膵・移植外科学	Anterior versus posterior radical antegrade modular pancreatosplenectomy for pancreatic body and tail cancer: an inverse probability of treatment weighting with survival analysis	Surgery Today. 2023 Aug;53(8):917-929	Original Article
47	Nagata M, Ichikawa Y, Domae K, et al.	臨床研修・キャリア支援部 (放射線科)	Application of Deep Learning-Based Denoising Technique for Radiation Dose Reduction in Dynamic Abdominal CT: Comparison with Standard-Dose CT Using Hybrid Iterative Reconstruction Method	Journal of Digital Imaging. 2023 Aug;36(4):1578-1587	Original Article
48	Oya T, Ichikawa Y, Nakamura S, et al.	放射線医学	Quantitative assessment of (99m)Tc-methylene diphosphonate bone SPECT/CT for assessing bone metastatic burden and its prognostic value in patients with castration-resistant prostate cancers: initial results in a single-center retrospective study	Annals of Nuclear Medicine. 2023 Jun;37(6):360-370	Original Article
49	Fridman D'Alessandro V, D'Alessandro-Gabazza CN, Yasuma T, et al.	免疫学	Inhibition of a Microbiota-Derived Peptide Ameliorates Established Acute Lung Injury	The American Journal of Pathology. 2023 Jun;193(6):740-754	Original Article
50	Shinkai T, Kuriyama N, Usui M, et al.	救命救急・総合集中治療センター (肝胆膵・移植外科)	Clinical Significance of Plasma Tenascin-C Levels in Recipients With Prolonged Jaundice After Living Donor Liver Transplantation	Transplantation Proceedings. 2023 May;55(4):913-923	Original Article
51	Hamada Y, Katsurahara M, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Endoscopic resection for a solitary Peutz-Jeghers type polyp in the duodenum: A case report with literature review	DEN Open. 2023 Mar 27;3(1):e226	Case report
52	Akeda K, Yamada J, Takegami N, et al.	整形外科	Central sensitization as a predictive factor for the surgical outcome in patients with lumbar spinal stenosis: a multicenter prospective study	European Spine Journal. 2023 Dec;32(12):4200-4209	Original Article
53	Hamada Y, Tanaka K, Mukai K, et al.	消化器・肝臓内科	Efficacy of Endoscopic Resection for Rectal Neuroendocrine Tumors Smaller than 15 mm	Digestive Diseases and Sciences. 2023 Jul;68(7):3148-3157	Original Article
54	Sakaguchi R, Yamada R, Nose K, et al.	消化器内科学	Pancreatic Mixed Acinar-neuroendocrine-ductal Carcinoma: A Case Report and Literature Review	Internal Medicine. 2023 Nov 15;62(22):3347-3353	Case report
55	Shinohara M, Matsuda K, Ii Y, et al.	神経病態内科学	Association between behavioral and psychological symptoms and cerebral small vessel disease MRI findings in memory clinic patients	Frontiers in Aging Neuroscience. 2023 Mar 24;15:1143834	Original Article
56	Kato Y, Hori S, Ushida K, et al.	リハビリテーション医学	Association between the amount of rehabilitation and the outcomes in patients with aspiration pneumonia	International Journal of Rehabilitation Research. 2023 Sep 1;46(3):216-220	Original Article
57	Kondo E, Kubo-Kaneda M, Nii M, et al.	産科婦人科学	Balloon Trocar Is a Suitable Instrument for Retroperitoneal Para-aortic Lymphadenectomy in Gynecologic Malignant Diseases	Journal of Minimally Invasive Gynecology. 2023 Jul;30(7):531-532	Others

58	Tanaka K, Okuda H, Umeda Y, et al.	光学医療診療部(消化器・肝臓内科)	Utility of image-enhanced magnifying endoscopy and traction wire for a successful endoscopic submucosal dissection in early gastric cancer	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E627-E628	Others
59	Inoue R, Yasuma T, Fridman D'Alessandro V, et al.	代謝内分泌内科学	Amelioration of Pulmonary Fibrosis by Matrix Metalloproteinase-2 Overexpression	International Journal of Molecular Sciences. 2023 Apr 3;24(7):6695	Original Article
60	Takegami N, Akeda K, Yamada J, et al.	整形外科	Association between low back pain and psychological stress response in a Japanese population-based study	Journal of Orthopaedic Science. 2024 May;29(3):749-754	Original Article
61	Saito H, Suzuki N.	動物ゲノミクス	Establishment of a novel experimental system using single cell-derived pleomorphic rhabdomyosarcoma cell lines expressing K-RasG12V and deficient in p53	Experimental Animals. 2023 Nov 9;72(4):446-453	Original Article
62	Sugioka K, Yokota N, Yamanaka K.	皮膚科学	Pachydermoperiostosis complicated with psoriatic arthritis successfully treated with an anti-interleukin 17A antibody	JAAD Case Reports. 2023 Mar 15;35:43-45	Case report
63	Banda CH, Shiraiishi M, Mitsui K, et al.	形成外科学	Structural and functional analysis of the newt lymphatic system	Scientific Reports. 2023 Apr 27;13(1):6902	Original Article
64	Shimizu M, Hiraiwa H, Tanaka S, et al.	リハビリテーション部	Cardiac Rehabilitation in Severe Heart Failure Patients with Impella 5.0 Support via the Subclavian Artery Approach Prior to Left Ventricular Assist Device Implantation	Journal of Personalized Medicine. 2023 Apr 3;13(4):630	Case report
65	Tanaka H, Hasegawa J, Katsuragi S, et al.	産科婦人科	Are There Maternal Deaths Related to Hemorrhagic Stroke Due to Hypertensive Disorder of Pregnancy That Could Be Potentially Preventable by Tight Hypertension Management in Antepartum? A Retrospective Study from the Maternal Death Exploratory	Journal of Clinical Medicine. 2023 Apr 17;12(8):2908	Original Article
66	Kitamura A, Toriyabe K, Hagimoto-Akasaka M, et al.	産科婦人科学	Revision of Cytomegalovirus Immunoglobulin M Antibody Titer Cutoff in a Maternal Antibody Screening Program in Japan: A Cohort Comparison Involving a Total of 32,000 Pregnant Women	Viruses. 2023 Apr 13;15(4):962	Original Article
67	Kobayashi M, Miwa T, Mori E, Shiga H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Efficacy of tokishakuyakusan and mecobalamin on post-infectious olfactory dysfunction: A prospective multicenter study	Auris, Nasus, Larynx. 2024 Feb;51(1):99-105	Original Article
68	Kondo E, Kubo-Kaneda M, Mori K, et al.	産科婦人科学	Efficacy of a portable interface pressure sensor for robotic surgery in preventing compartment syndrome	Asian Journal of Surgery. 2023 Sep;46(9):3575-3580	Original Article
69	Asanuma K, Tsujii M, Hagi T, et al.	整形外科	Full-thickness chest wall resection for malignant chest wall tumors and postoperative problems	Frontiers in Oncology. 2023 Apr 21;13:1104536	Original Article
70	Nakano F, Kanamaru H, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Epidermal Growth Factor Receptor Mediates Neuronal Apoptosis After Subarachnoid Hemorrhage in Mice	Stroke. 2023 Jun;54(6):1616-1626	Original Article
71	Kaneko I, Nishi T, Iwanaga S, et al.	医動物・感染医学	Differentiation of Plasmodium male gametocytes is initiated by the recruitment of a chromatin remodeler to a male-specific cis-element	PNAS. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. 2023 May 16;120(20):e2303432120	Original Article
72	Kotaka S, Kondo E, Kawai Y, et al.	産科婦人科学	Real-world efficacy and safety of bevacizumab single-maintenance therapy following platinum-paclitaxel chemotherapy plus bevacizumab in patients with advanced cervical cancer	Journal of Gynecologic Oncology. 2023 Sep;34(5):e60	Original Article

73	Nakamura K, Asanuma K, Okamoto T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Combination of Everolimus and Bortezomib Inhibits the Growth and Metastasis of Bone and Soft Tissue Sarcomas via JNK/p38/ERK MAPK and AKT Pathways	Cancers. 2023 Apr 26;15(9):2468	Original Article
74	Inoue T, Sekito S, Kageyama T, et al.	腎泌尿器外科学	Roles of the PARP Inhibitor in BRCA1 and BRCA2 Pathogenic Mutated Metastatic Prostate Cancer: Direct Functions and Modification of the Tumor Microenvironment	Cancers. 2023 May 8;15(9):2662	Review
75	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	Efficacy and safety of recombinant human soluble thrombomodulin in patients with sepsis-induced disseminated intravascular coagulation - A meta-analysis	Thrombosis Research. 2023 Jun;226:165-172	Original Article
76	Nishimura Y, Kudoh T, Komada M.	統合薬理学	Editorial: Model organisms in predictive toxicology 2022	Frontiers in Pharmacology. 2023 May 2;14:1205945	Others
77	Shigefuku R, Iwasa M, Eguchi A, et al.	消化器・肝臓内科	Serum Zinc- 2-glycoprotein Levels Are Associated with the Hepatorenal Function and Predict the Survival in Cases of Chronic Liver Disease	Internal Medicine. 2024 Jan 1;63(1):31-41	Original Article
78	Kita K, Asanuma K, Okamoto T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	A Novel Approach to Reducing Lung Metastasis in Osteosarcoma: Increasing Cell Stiffness with Carbenoxolone	Current Issues in Molecular Biology. 2023 May 17;45(5):4375-4388	Original Article
79	Wakabayashi H, Hasegawa M, Naito Y, et al.	整形外科	Outcome of Irrigation and Debridement with Topical Antibiotic Delivery Using Antibiotic-Impregnated Calcium Hydroxyapatite for the Management of Periprosthetic Hip Joint Infection	Antibiotics. 2023 May 21;12(5):938	Original Article
80	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Enhanced L- -Aminoisobutyric Acid Is Involved in the Pathophysiology of Effectiveness for Treatment-Resistant Schizophrenia and Adverse Reactions of Clozapine	Biomolecules. 2023 May 19;13(5):862	Original Article
81	Tsuji M, Maki S, Enomoto N, et al.	産科婦人科学	Fetal Biometric Assessment and Infant Developmental Prognosis of the Tadalafil Treatment for Fetal Growth Restriction	Medicina. 2023 May 8;59(5):900	Original Article
82	Toriyabe K, Kitamura A, Hagimoto-Akasaka M, et al.	高度生殖医療センター(産科婦人科)	Transient Decrease in Incidence Rate of Maternal Primary Cytomegalovirus Infection during the COVID-19 Pandemic in Japan	Viruses. 2023 Apr 29;15(5):1096	Original Article
83	Yamamoto A, Ieki H, Shimamura M, et al.	消化管・小児外科学	Symptom palliation with QUAD Shot radiation therapy to penile metastasis derived from descending colon cancer: a case report	International Cancer Conference Journal. 2023 Mar 30;12(3):210-215	Case report
84	Nii M, Enomoto N, Takakura S, et al.	周産母子センター(産科婦人科)	Surgical technique for fertility preservation for placenta accreta spectrum without previa: Tourniquet, uterus inversion and placental dissection procedure	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2023 Aug;49(8):2188-2193	Case report
85	Inoue T.	腎泌尿器外科学	This issue 30-6	International Journal of Urology. 2023 Jun;30(6):503	Others
86	Nakamura T, Asanuma K, Hagi T, et al.	整形外科	Artifactual hypoglycaemia may be common in patients with soft tissue sarcoma who received pegfilgrastim-supported chemotherapy	Journal of Orthopaedic Science. 2024 Jul;29(4):1108-1111	Original Article
87	Okumura A, Kondo E, Nii M, et al.	産科婦人科学	Comparison of surgical outcomes between robot-assisted laparoscopic hysterectomy and conventional total laparoscopic hysterectomy in gynecologic benign disease: a single-center cohort study	Journal of Robotic Surgery. 2023 Oct;17(5):2221-2228	Original Article

88	Yamada J, Akeda K, Takegami N, et al.	脊椎集学治療学 (運動器外科学・腫瘍集学治療学)	Does Central Sensitization Influence Outcomes of Lumbar Discectomy Surgery in Patients With Lumbar Disc Herniation? A Multicenter Prospective Study	Global Spine Journal. 2023 Jun 9;21925682231182333	Original Article
89	Chujo S, Matsubara H, Matsui Y, et al.	眼科	Suspension of Anti-VEGF Treatment Does Not Affect Expansion of RPE Atrophy in Neovascular Age-Related Macular Degeneration	Journal of Clinical Medicine. 2023 May 25;12(11):3659	Original Article
90	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	A systematic review and meta-analysis of efficacy and safety of isavuconazole for the treatment and prophylaxis of invasive fungal infections	Mycoses. 2023 Sep;66(9):815-824	Review
91	Sasaki T, Takahashi T, Sekito S, et al.	腎泌尿器外科	Pretreatment Lymphocyte to C-Reactive Protein Ratio: An Independent Predictor of Overall Survival in Metastatic Hormone-Naïve Prostate Cancer Patients	Clinical Genitourinary Cancer. 2023 Dec;21(6):e474-e484	Original Article
92	Yokota N, Kondo M, Hayashi A, et al.	皮膚科学	Psoriasis-like skin rash triggered by a local infection in a patient with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis that was well controlled by mepolizumab treatment	Clinical Case Reports. 2023 Jun 9;11(6):e7532	Case report
93	Sawai S, Tanaka K, Beppu T, et al.	消化器内科学	Successful conservative management of a delayed perforation following gastric endoscopic submucosal dissection	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E794-E795	Others
94	Ishinaga H, Okugawa Y, Hou B, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	The role of miR-21 as a predictive biomarker and a potential target to improve the effects of chemoradiotherapy against head and neck squamous cell carcinoma	Journal of Radiation Research. 2023 Jul 18;64(4):668-676	Original Article
95	Tomita Y, Ichikawa Y, Hashizume K, et al.	放射線部	Effect of Gaussian Smoothing Filter Size for CT-Based Attenuation Correction on Quantitative Assessment of Bone SPECT/CT: A Phantom Study	Journal of Digital Imaging. 2023 Oct;36(5):2313-2321	Original Article
96	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	A case of pyoderma gangrenosum around the urethral meatus aggravated by COVID-19 infection and further worsened due to the development of pyogenic osteomyelitis 8 years after urostomy	Clinical Case Reports. 2023 Jun 13;11(6):e7501	Case report
97	Matsuda C, Ishii K, Nakagawa Y, et al.	バイオバンクセンター (病理部)	Fibroblast-derived exosomal microRNA regulates NKX3-1 expression in androgen-sensitive, androgen receptor-dependent prostate cancer cells	Journal of Cellular Biochemistry. 2023 Aug;124(8):1135-1144	Original Article
98	Yamashita S, Okita Y, Kawamura M, et al.	消化管・小児外科学	Robot-assisted laparoscopic abdominoperineal resection for anal canal cancer associated with Crohn's disease: A case report	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 2023 Oct;16(4):757-760	Case report
99	Magawa S, Maki S, Nii M, et al.	臨床研究開発センター (産科婦人科)	Evaluation of fetal acidemia during delivery using the conventional 5-tier classification and Rainbow systems	PLoS One. 2023 Jun 23;18(6):e0287535	Original Article
100	Ota A, Ota I, Kachi S, et al.	眼科学	Factors Associated with Reclosure of Posterior Capsule Aperture by Flat Opacifications with Pearls after Nd:YAG Laser Posterior Capsulotomy	Diseases. 2023 Jun 3;11(2):82	Original Article
101	Yamada R, Tsuboi J, Murashima Y, et al.	消化器・肝臓内科	Advances in the Early Diagnosis of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma and Premalignant Pancreatic Lesions	Biomedicines. 2023 Jun 11;11(6):1687	Review
102	Matsui K, Torii S, Hara S, et al.	修復再生病理学	Tenascin-C in Tissue Repair after Myocardial Infarction in Humans	International Journal of Molecular Sciences. 2023 Jun 15;24(12):10184	Original Article

103	Sasaki T, Matsui Y, Kato K, et al.	眼科学	Comparisons of Clinical Characteristics and Surgical Outcomes of Epiretinal Membrane Foveoschisis to Typical Epiretinal Membrane	Journal of Clinical Medicine. 2023 Jun 12;12(12):4009	Original Article
104	Sakaida H, Kitano M, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Giant Cell Tumor of the Temporal Bone	ENT. Ear, Nose & Throat Journal. 2023 Jun 28;1455613231182677	Original Article
105	Kishi S, Maeda M, Tanaka F, et al.	放射線医学	Advanced multiparametric MRI and FDG-PET/CT in multinodular and vacuolating neuronal tumor: A pathologically confirmed case	Radiology Case Reports. 2023 Jun 16;18(9):2924-2928	Case report
106	Gyoten K, Kuriyama N, Maeda K, et al.	肝胆膵・移植外科	Safety and efficacy of neoadjuvant chemotherapy based on our resectability criteria for locally advanced perihilar cholangiocarcinoma	Langenbeck's Archives of Surgery. 2023 Jul 1;408(1):261	Original Article
107	Miura S, Katayama K, Sugimoto Y, et al.	循環器・腎臓内科学	Discordance of light chain isotypes between serum and glomerular deposits in proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG deposits: a case report and review of the literature	BMC Nephrology. 2023 Jul 1;24(1):199	Review
108	Aoki Y, Hanaki R, Toyoda H, et al.	小児科学	Case report: Thyroid storm in a three-year-old girl presenting with febrile status epilepticus and hypoglycemia	Frontiers in Pediatrics. 2023 Jun 16;11:1213040	Case report
109	Sekijima H, Oshima T, Ueji Y, et al.	法医学科学	Toxicologic pathological mechanism of acute lung injury induced by oral administration of benzalkonium chloride in mice	Toxicological Research. 2023 Apr 7;39(3):409-418	Original Article
110	Park EJ, Yadav H, Singh TP.	分子病態学	Editorial: Microbiota in skin inflammatory diseases	Frontiers in Immunology. 2023 Jun 15;14:1235314	Others
111	Tsuji M, Ishida F, Yasuda R, et al.	脳神経外科学	Computational fluid dynamics for predicting the growth of small unruptured cerebral aneurysms	Journal of Neurosurgery. 2023 Jun 30;140(1):138-143	Original Article
112	Yamamoto A, Toiyama Y, Ikeuchi H, et al.	消化管・小児外科学	Oncological outcomes of Crohn's disease-associated cancers focusing on disease behavior	Annals of Gastroenterological Surgery. 2023 Jan 18;7(4):615-625	Original Article
113	Kaluba B, Kuriyama N, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科学	Inverted Y-shaped technique for complex superior mesenteric / portal vein reconstruction in pancreatoduodenectomy for locally advanced pancreatic head ductal adenocarcinoma	Annals of Gastroenterological Surgery. 2023 Feb 20;7(4):684-690	Case report
114	Hayasaki A, Mizuno S, Nagata M, et al.	肝胆膵・移植外科	Extrapancreatic extension is a better adverse prognostic factor than tumor size in patients with localized pancreatic ductal adenocarcinoma treated with chemoradiotherapy - comparison of T category between the American Joint Committee on Cancer and Japan Pancreas	HPB. 2023 Oct;25(10):1268-1277	Original Article
115	Wang Y, Wang L, Seo N, et al.	個別化がん免疫治療学	CAR-Modified V _{9V2} T Cells Propagated Using a Novel Bisphosphonate Prodrug for Allogeneic Adoptive Immunotherapy	International Journal of Molecular Sciences. 2023 Jun 29;24(13):10873	Original Article
116	Morita K, Shirai Y, Tohyama M, et al.	リハビリテーション医学	Nutritional Care for Older Patients Undergoing Rehabilitation	Nutrients. 2023 Jun 26;15(13):2893	Others
117	Domae K, Ichikawa Y, Kubooka M, et al.	放射線医学	Mixed epithelial and stromal tumor of the kidney with long-term imaging follow-up	Radiology Case Reports. 2023 Jun 30;18(9):3212-3217	Case report

118	Tanaka Y, Matsumoto T, Kadoya K, et al.	輸血・細胞治療部	Overestimation of fibrinogen concentration in cryoprecipitate by repeated freeze-thawing with long thawing period as used in the Clauss method	Transfusion. 2023 Aug;63(8):1435-1440	Original Article
119	Asai Y, Konishi T, Yamamoto T, et al.	薬剤部	Impact of antimicrobial stewardship program-driven educational intervention for vancomycin loading dose on mortality	Journal of Infection and Chemotherapy. 2023 Nov;29(11):1023-1032	Original Article
120	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	Consideration of serum IL-36 and levels trends in two patients with chikungunya fever	Clinical Case Reports. 2023 Jul 17;11(7):e7680	Case report
121	Kitagawa H, Sugimoto I, Bito T, et al.	皮膚科	Partial Excision and Ablative Carbon Dioxide Fractional Laser Therapy for Multiple Apocrine Hidrocystomas on the Periorbital Regions and Cheeks	Case Reports in Dermatological Medicine. 2023 Jul 11;2023:6318220	Case report
122	Nakanishi M, Mizutani K, Sugioka K, et al.	皮膚科学	A case of anti-MDA5 antibody-positive dermatomyositis with severe necrosis on limbs after COVID-19 vaccination	The Journal of Dermatology. 2023 Dec;50(12):e402-e403	Case report
123	Owa H, Sugimoto K, Tameda M, et al.	消化器内科学	A case of steatohepatitis that developed after pancreaticoduodenectomy and progressed rapidly to liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma	Clinical Journal of Gastroenterology. 2023 Oct;16(5):715-719	Case report
124	Hamada Y, Tanaka K, Ikenoyama Y, et al.	消化器・肝臓内科	Risk Factors Associated with Painful Colonoscopy and Prolonged Cecal Intubation Time in Female Patients	Journal of the Anus, Rectum and Colon. 2023 Jul 25;7(3):168-175	Original Article
125	Kubo-Kaneda M, Kondo E, Okugawa T, et al.	産科婦人科	Positive Ascites Cytology, Postoperative Chemotherapy and Prognosis of Stage I Ovarian Clear Cell Carcinoma	Anticancer Research. 2023 Aug;43(8):3799-3805	Original Article
126	Ishinaga H, Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Intravenous Delivery of miR-21 Inhibitor in Mice With Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Research. 2023 Aug;43(8):3487-3491	Original Article
127	Chihiro S, Hirai T, Kaneda M, et al.	薬剤部	Factors for the development of anemia in patients with newly introduced olaparib: A retrospective case-control study	Medicine. 2023 Jul 28;102(30):e34123	Original Article
128	Yamamoto T, Sugimoto K, Ichikawa S, et al.	総合診療部	Impact of body composition on patient prognosis after SARS-Cov-2 infection	PLoS One. 2023 Jul 28;18(7):e0289206	Original Article
129	Saiki R, Katayama K, Dohi K.	臨床研修・キャリア支援部 (腎臓内科)	Recent Advances in Proteinuric Kidney Disease/Nephrotic Syndrome: Lessons from Knockout/Transgenic Mouse Models	Biomedicines. 2023 Jun 23;11(7):1803	Review
130	Shinogi Y, Hirai T, Ishibashi M, et al.	薬剤部	Drug interactions of tacrolimus with letemovir and azole antifungals following hematopoietic stem cell transplantation: A retrospective observational analysis	Pharmacology Research & Perspectives. 2023 Aug;11(4):e01120	Original Article
131	Maewaza T, Suzuki N, Takeuchi H, et al.	高度生殖医療センター(産科婦人科)	Challenges to Widespread Use of Fertility Preservation Facilities for Pediatric Cancer Patients in Japan	Journal of Adolescent and Young Adult Oncology. 2024 Feb;13(1):197-202	Original Article
132	Nakamura T, Asanuma K, Hagi T, et al.	整形外科	What is a useful marker for predicting survival in patients with high-grade soft tissue sarcoma who have non-inflammatory conditions?	Journal of Orthopaedic Science. 2024 Jul;29(4):1125-1129	Original Article

133	Fujiwara N, Nakagawa H.	消化器病センター(消化器・肝臓内科)	Clinico-histological and molecular features of hepatocellular carcinoma from nonalcoholic fatty liver disease	Cancer Science. 2023 Oct;114(10):3825-3833	Review
134	Ito T, Tanemura A, Kuramitsu T, et al.	肝胆膵・移植外科	Spleen volume is a predictor of posthepatectomy liver failure and short-term mortality for hepatocellular carcinoma	Langenbeck's Archives of Surgery. 2023 Aug 7;408(1):297	Original Article
135	Okada M, Matsumoto R, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	Suicidal Mortality and Motives Among Middle-School, High-School, and University Students	JAMA Network Open. 2023 Aug 1;6(8):e2328144	Original Article
136	Sakaida H, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Doppler sonography in diagnosis of Bow Hunter's syndrome	Clinical Case Reports. 2023 Aug 7;11(8):e7783	Case report
137	Tanaka H, Hasegawa J, Katsuragi S, et al.	産科婦人科	High maternal mortality rate associated with advanced maternal age in Japan	Scientific Reports. 2023 Aug 9;13(1):12918	Original Article
138	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Intraoperative midflexion medial laxity using navigation affects patient expectations following posterior stabilized total knee arthroplasty	Journal of Orthopaedic Surgery. 2022 Sep-Dec;30(3):10225536221119512	Original Article
139	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	Comparison of microbial detection rates in microbial culture methods versus next-generation sequencing in patients with prosthetic joint infection: a systematic review and meta-analysis	Journal of Orthopaedic Surgery and Research. 2023 Aug 16;18(1):604	Review
140	Hasegawa M, Hattori Y, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Comparing an imageless hand-held robotic-assisted system versus conventional technique for component positioning and early clinical outcomes in total knee arthroplasty	MRCAS. The International Journal of Medical Robotics and Computer Assisted Surgery. 2023 Aug 20:e2564	Original Article
141	Matsuda K, Shinohara M, Li Y, et al.	認知症医療学	Magnetic resonance imaging and neuropsychological findings for predicting of cognitive deterioration in memory clinic patients	Frontiers in Aging Neuroscience. 2023 Aug 3;15:1155122	Original Article
142	Takeuchi H, Maezawa T, Hagiwara K, et al.	産科婦人科学	Investigation of an efficient method of oocyte retrieval by dual stimulation for patients with cancer	Reproductive Medicine and Biology. 2023 Aug 17;22(1):e12534	Original Article
143	Miyata C.	看護教育学	Challenges and career consequences of internationally educated nurses: Empirical research qualitative	Nursing Open. 2023 Nov;10(11):7244-7254	Original Article
144	Oda K, Murata T, Tsujimoto K, et al.	循環器・腎臓内科学	A case of carcinoid syndrome probably exacerbated by hemodialysis in which prochlorperazine maleate was effective	CEN Case Reports. 2024 Apr;13(2):135-140	Case report
145	Ito-Masui A, Sakamoto R, Matsuo E, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Effect of an Internet-Delivered Cognitive Behavioral Therapy-Based Sleep Improvement App for Shift Workers at High Risk of Sleep Disorder: Single-Arm, Nonrandomized Trial	Journal of Medical Internet Research. 2023 Aug 22;25:e45834	Original Article
146	Koike Y, Yin C, Sato Y, et al.	消化管・小児外科学 / 小児外科	Promoter methylation levels of microRNA-124 in non-neoplastic rectal mucosa as a potential biomarker for ulcerative colitis-associated colorectal cancer in pediatric-onset patients	Surgery Today. 2024 Apr;54(4):347-355	Original Article
147	Mayumi N, Wakabayashi H, Miyamura G, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Association of bisphosphonate with bone loss and pain-related behavior in an adjuvant-induced osteoporosis model	Modern Rheumatology. 2024 Jul 6;34(4):841-850	Original Article

148	Hattori Y, Hasegawa M, Iino T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Role of Syndecan-4 in the Inhibition of Articular Cartilage Degeneration in Osteoarthritis	Biomedicines. 2023 Aug 12;11(8):2257	Original Article
149	Akeda K, Hasegawa T, Kawaguchi K, et al.	整形外科	Daily Physical Training Improved Coronal Imbalance of Adult Degenerative Scoliosis: A Case Report	Medicina. 2023 Aug 9;59(8):1443	Case report
150	Yamaguchi T, Gaowa A, Park EJ, et al.	感染制御部(血液内科)	Recombinant soluble thrombomodulin attenuates cisplatin-induced intestinal injury by inhibiting intestinal epithelial cell-derived cytokine secretion	Molecular Biology Reports. 2023 Oct;50(10):8459-8467	Original Article
151	Hirai T, Kondo Y, Sakazaki Y, et al.	薬剤部 / / 熊本大学	Drug-drug interaction signals between loop diuretics and teicoplanin during acute kidney injury evaluated using Japanese spontaneous adverse drug event reports	Scientific Reports. 2023 Aug 26;13(1):13989	Original Article
152	Okuno F, Ito-Masui A, Hane A, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Severe hypocalcemia after denosumab treatment leading to refractory ventricular tachycardia and veno-arterial extracorporeal membrane oxygenation support: a case report	International Journal of Emergency Medicine. 2023 Aug 28;16(1):52	Case report
153	Kamo T, Ogihara H, Azami M, et al.	リハビリテーション医学	Effects of Early Vestibular Rehabilitation in Patients With Acute Vestibular Disorder: A Systematic Review and Meta-Analysis	Otology & Neurotology. 2023 Oct 1;44(9):e641-e647	Review
154	Feng G, Arima Y, Midorikawa K, et al.	環境分子医学	Knockdown of TFRC suppressed the progression of nasopharyngeal carcinoma by downregulating the PI3K/Akt/mTOR pathway	Cancer Cell International. 2023 Aug 29;23(1):185	Original Article
155	Sekito S, Tanaka S, Kitano G, et al.	腎泌尿器外科学	Pre-operative Plasma Fibrinogen Level as a Potential Predictor of Pathological T3 Upstaging in Clinically Localized Renal Cell Carcinoma	Anticancer Research. 2023 Sep;43(9):4229-4235	Original Article
156	Higashi C, Saito K, Kozuka Y, et al.	乳腺外科学	Ganglioside GD2 Expression Is Associated With Unfavorable Prognosis in Early Triple-negative Breast Cancer	Anticancer Research. 2023 Sep;43(9):4045-4053	Original Article
157	Kotaka S, Kondo E, Kawai Y, et al.	産科婦人科学	Paclitaxel-carboplatin plus bevacizumab therapy for advanced neuroendocrine carcinoma of the uterine cervix: A retrospective case series	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2023 Dec;49(12):2868-2874	Original Article
158	Moriwaki K, Hirota Y, Okado R, et al.	循環器・腎臓内科学	Right-Side Dominant Cardiac Sarcoidosis Complicated With Multiple Coronary Artery-Right Ventricular Microfistulas	Circulation Journal. 2023 Sep 25;87(10):1409	Case report
159	Hasegawa M, Naito Y, Tone S, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Accuracy of augmented reality with computed tomography-based navigation in total hip arthroplasty	Journal of Orthopaedic Surgery and Research. 2023 Sep 6;18(1):662	Original Article
160	Shah SA, Kobayashi M.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Pathogenesis of chronic rhinosinusitis with nasal polyp and a prominent T2 endotype	Heliyon. 2023 Aug 23;9(9):e19249	Review
161	Higashi K, Koike Y, Sato Y, et al.	消化管・小児外科学	Extraction of a metallic susceptor after accidental ingestion of the heated tobaccostick TEREASTM: a case report	BMC Pediatrics. 2023 Sep 9;23(1):452	Case report
162	Tone S, Hasegawa M, Naito Y, et al.	リハビリテーション部(整形外科)	Association between pre- and postoperative rotational mismatches of the femorotibial components and bones in bicruciate retaining and posterior stabilized total knee arthroplasty	Scientific Reports. 2023 Sep 9;13(1):14902	Original Article

163	Takafuji M, Kitagawa K, Mizutani S, et al.	臨床研修・キャリア支援部 (放射線科)	Super-Resolution Deep Learning Reconstruction for Improved Image Quality of Coronary CT Angiography	Radiology. Cardiothoracic Imaging. 2023 Aug 17;5(4):e230085	Original Article
164	Kawamura M, Yamashita S, Imaoka H, et al.	消化管・小児外科学	Double inferior vena cava, an uncommon but relevant anatomical anomaly in surgery for lower rectal cancer: a report of two cases	Surgical Case Reports. 2023 Sep 14;9(1):162	Case report
165	Ushida E, Toyoda H, Hanaki R, et al.	小児科学	Secondary malignancy after carbon ion radiotherapy in a 15-year-old female with Ewing sarcoma	Pediatric Blood & Cancer. 2023 Dec;70(12):e30676	Others
166	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Long-term results of hemi-resurfacing and metal-on-metal hip resurfacing for osteonecrosis of the femoral head	Journal of Artificial Organs. 2023 Sep 14	Original Article
167	Ishihara M, Miwa H, Fujiwara H, et al.	がん支援センター(腫瘍内科)	-T cell receptor transduction gives superior mitochondrial function to -T cells with promising persistence	iScience. 2023 Aug 31;26(10):107802	Original Article
168	Sakaida H, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Allergic Fungal Otomastoiditis	Cur us. 2023 Sep 18;15(9):e45446	Case report
169	Matsuura K, Ii Y, Maeda M, et al.	脳神経内科	Pulvinar quantitative susceptibility mapping predicts visual hallucinations post-deep brain stimulation in Parkinson's disease	Brain and Behavior. 2023 Nov;13(11):e3263	Original Article
170	Tsunokuma N, Tetteh DN, Isono K, et al.	幹細胞発生学	Depletion of Neural Crest-Derived Cells Leads to Plasma Noradrenaline Decrease and Alters T Cell Development	The Journal of Immunology. 2023 Nov 15;211(10):1494-1505	Original Article
171	Oktaviani S, Mizutani M, Nishide R, et al.	地域看護学	Factors associated with overweight/obesity of children aged 6-12 years in Indonesia	BMC Pediatrics. 2023 Sep 25;23(1):484	Original Article
172	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	A Novel Gliotransmitter, L- - Aminoisobutyric Acid, Contributes to Pathophysiology of Clinical Efficacies and Adverse Reactions of Clozapine	Biomolecules. 2023 Aug 23;13(9):1288	Review
173	Hirao Y, Kobayashi H, Mori Y, et al.	環境分子医学	Myricetin causes site-specific DNA damage via reactive oxygen species generation by redox interactions with copper ions	Mutation Research. Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis. 2023 Oct;891:503694	Original Article
174	Mizutani H, Fujimoto N, Saihara K, et al.	循環器・腎臓内科学	Long-term Consequence of Mediastinal Radiation Therapy for Thymoma on Cardiovascular System Confirmed by Cardiovascular Imaging	Circulation. Cardiovascular Imaging. 2023 Oct;16(10):e015653	Original Article
175	Nagaharu K, Izumi T, Maruyama M, et al.	血液・腫瘍内科学	Clinical Utility of Flow Cytometry for Detection of Anti-Jk(b) IgM in Acute Haemolytic Transfusion Reaction	Internal Medicine. 2024 May 1;63(9):1273-1275	Case report
176	Umeda Y, Hamada Y, Ikenoyama Y, et al.	消化器内科学	A transnasal traction method using a novel traction device in pharyngeal endoscopic submucosal dissection	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E1101-E1102	Others
177	Magawa S, Nii M, Enomoto N, et al.	臨床研究開発センター(産科婦人科)	COVID-19 during pregnancy could potentially affect placental function	The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 2023 Dec;36(2):2265021	Original Article

178	Hayasaki A, Tanemura A, Uchida K, et al.	肝胆膵・移植外科	Choledochocoele with hyperplastic epithelium in a patient who developed severe acute pancreatitis and underwent subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy: a case report	Clinical Journal of Gastroenterology. 2024 Feb;17(1):170-176	Case report
179	Asai Y, Yanagawa T, Takahashi M.	薬剤部	Effect of pharmacist-led intervention protocol on preventing postoperative delirium after elective cardiovascular surgery	PLoS One. 2023 Oct 12;18(10):e0292786	Original Article
180	Kako J, Morikawa M, Kobayashi M, et al.	がん看護学	Nursing support for breathlessness in patients with cancer: a scoping review	BMJ Open. 2023 Oct 12;13(10):e075024	Review
181	Nii M, Ikeda T.	周産母子センター(産科婦人科)	Tourniquet, Uterine Inversion, and Placental dissection (TURIP) procedure as a novel hemostatic technique to preserve fertility for placenta accreta spectrum disorders without placenta previa	American Journal of Obstetrics & Gynecology MFM. 2023 Dec;5(12):101185	Original Article
182	Akeda K, Hasegawa T, Togo Y, et al.	整形外科	Quantitative Analysis of Lumbar Disc Bulging in Patients with Lumbar Spinal Stenosis: Implication for Surgical Outcomes of Decompression Surgery	Journal of Clinical Medicine. 2023 Sep 24;12(19):6172	Original Article
183	Matsumoto T, Wada H, Shiraki K, et al.	輸血・細胞治療部	The Evaluation of Clot Waveform Analyses for Assessing Hypercoagulability in Patients Treated with Factor VIII Concentrate	Journal of Clinical Medicine. 2023 Sep 30;12(19):6320	Original Article
184	Nakajima H, Okada T, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Cilostazol May Improve Outcomes Even in Patients with Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Aged 75 Years and Older: Multicenter Cohort Study and Propensity Score-Matched Analyses	World Neurosurgery. 2024 Jan;181:e273-e290	Original Article
185	Yokoe T, Toiyama Y, Ichikawa T, et al.	消化管・小児外科学	Successful management following combined thoracic endovascular aortic repair and minimally invasive esophagectomy for primary aorto-esophageal fistula: A case report	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 2024 Jan;17(1):e13249	Case report
186	Shiraishi C, Kato H, Hagihara M, et al.	薬剤部	Comparison of clinical efficacy and safety of baloxavir marboxil versus oseltamivir as the treatment for influenza virus infections: A systematic review and meta-analysis	Journal of Infection and Chemotherapy. 2024 Mar;30(3):242-249	Review
187	Kobayashi Y, Eguchi A, Imami K, et al.	保健管理センター	Circulating extracellular vesicles are associated with pathophysiological condition including metabolic syndrome-related dysmetabolism in children and adolescents with obesity	Journal of Molecular Medicine. 2024 Jan;102(1):23-38	Original Article
188	Nishioka M, Maezawa T, Takeuchi H, et al.	産科婦人科学	Pregnancy Rates after Hysteroscopic Endometrial Polypectomy versus Endometrial Curettage Polypectomy: A Retrospective Study	Medicina. 2023 Oct 20;59(10):1868	Original Article
189	Matsumoto R, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Impacts of Complete Unemployment Rates Disaggregated by Reason and Duration on Suicide Mortality from 2009-2022 in Japan	Healthcare. 2023 Oct 23;11(20):2806	Original Article
190	Tamai Y, Fujiwara N, Tanaka T, et al.	消化器・肝臓内科	Combination Therapy of Immune Checkpoint Inhibitors with Locoregional Therapy for Hepatocellular Carcinoma	Cancers. 2023 Oct 20;15(20):5072	Review
191	Nishihama K, Inoue C, Nishikawa K, et al.	臨床研修・キャリア支援部(糖尿病・内分泌内科)	Bilateral Nephrectomy for Resistant Hypertension and Secondary Aldosteronism in a Hemodialysis Patient	Internal Medicine. 2024 Jun 1;63(11):1597-1602	Case report
192	Semba R, Uchida K, Hirokawa Y, et al.	腫瘍病理学	Short-term prognosis of low-risk prostate cancer patients is favorable despite the presence of pathological prognostic factors: a retrospective study	BMC Urology. 2023 Oct 31;23(1):174	Original Article

193	Nakamura T, Sakai T, Tsukushi S, et al.	整形外科	Clinical Outcome in Patients With High-grade Soft-tissue Sarcoma Receiving Prosthetic Replacement After Tumor Resection of the Lower Extremities: Tokai Musculoskeletal Oncology Consortium Study	In Vivo. 2023 Nov-Dec;37(6):2642-2647	Original Article
194	Ito A, Tarukawa T, Suzuki Y, et al.	胸部心臓血管外科学	Clinicopathological and Molecular Characteristics Promoting PD-L1 Expression in Early-stage Lung Adenocarcinoma and Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Research. 2023 Nov;43(11):5197-5204	Original Article
195	Takahashi D, Katayama K, Iyoda Y, et al.	循環器・腎臓内科学	High-flow arteriovenous fistula in X-linked Alport syndrome	Frontiers in Medicine. 2023 Oct 19;10:1227283	Case report
196	Yamagata K, Banda CH, Shiraishi M, et al.	形成外科学	Anatomical external auricular muscle transposition with mini flap transfer for mild cryptotia: A case report	JPRAS Open. 2023 Sep 30;38:147-151	Case report
197	Esumi R, Ito-Masui A, Kawamoto E, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Correlation Between the Social Network Structure and Well-Being of Health Care Workers in Intensive Care Units: Prospective Observational Study	Interactive Journal of Medical Research. 2023 Nov 29;12:e50148	Original Article
198	Hasegawa T, Akeda K, Yamada J, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学 / 整形外科	Regenerative effects of platelet-rich plasma releasate injection in rabbit discs degenerated by intradiscal injection of condoliase	Arthritis Research & Therapy. 2023 Nov 8;25(1):216	Original Article
199	Hasegawa M, Naito Y, Tone S, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Two- and three-dimensional measurements of leg length change using an accelerometer-based portable navigation system in total hip arthroplasty	BMC Musculoskeletal Disorders. 2023 Nov 9;24(1):872	Original Article
200	Hirai T, Aoyama T, Tsuji Y, et al.	薬剤部	Kinetic-pharmacodynamic model of warfarin for prothrombin time-international normalized ratio in Japanese patients	British Journal of Clinical Pharmacology. 2024 Mar;90(3):828-836	Original Article
201	Iwasaki T, Akeda K, Kawaguchi K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Expression of Glial-Cell-Line-Derived Neurotrophic Factor Family Ligands in Human Intervertebral Discs	International Journal of Molecular Sciences. 2023 Nov 1;24(21):15874	Original Article
202	Nishimura Y, Saito M, Otsu W, et al.	統合薬理学	Editorial: Primary cilia as therapeutic targets	Frontiers in Molecular Biosciences. 2023 Oct 26;10:1322873	Others
203	Tanaka K, Baba Y.	光学医療診療部(消化器・肝臓内科)	Gastrointestinal: Diminutive Epstein-Barr virus-associated gastric carcinoma	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2024 Mar;39(3):420-421	Review
204	Naito Y, Hasegawa M, Tone S, et al.	整形外科	Registration in the supine position improve the accuracy of cup placement in total hip arthroplasty using a portable navigation system	Scientific Reports. 2023 Nov 18;13(1):20222	Original Article
205	Watanabe T, Tobinai K, Wakabayashi M, et al.	個別化骨髄リンパ系腫瘍制御学(血液・腫瘍内科学)	R-CHOP treatment for patients with advanced follicular lymphoma: Over 15-year follow-up of JCOG0203	British Journal of Haematology. 2024 Mar;204(3):849-860	Original Article
206	Tachibana R, Takeuchi H, Yoshikawa-Terada K, et al.	高度生殖医療センター	Carboxylated Poly-L-lysine Potentially Reduces Human Sperm DNA Fragmentation after Freeze-Thawing, and Its Function Is Enhanced by Low-Dose Resveratrol	Cells. 2023 Nov 7;12(22):2585	Original Article
207	Tohyama M, Shirai Y, Shimizu M, et al.	リハビリテーション医学	Predictive Value of the Hemoglobin-Geriatric Nutritional Risk Index in Patients with Heart Failure	Nutrients. 2023 Nov 15;15(22):4789	Original Article

208	Enomoto N, Tanaka H, Maki S, et al.	産科婦人科学	Retraction notice to "Maternal blood concentration of tadalafil in pregnancy: Comparison of pregnant and non-pregnant women" [Taiwan J Obstet Gynecol 61 (2022) 230-233]	Taiwanese Journal of Obstetrics & Gynecology. 2023 Nov;62(6):935	Others
209	Yamanaka K.	皮膚科学	New treatment of pyoderma gangrenosum and hidradenitis suppurativa: A review	The Journal of Dermatology. 2024 Feb;51(2):172-179	Review
210	Nishida E, Sakaida H, Kitano M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Quantification of Mastoid Air Cells and Opacification of the Middle Ear in Primary Ciliary Dyskinesia	Otol Neurotol. 2024 Feb 1;45(2):e102-e106. doi: 10.1097/MAO.0000000000004059. Epub 2023 Nov 16.	Original Article
211	Enomoto N, Maki S, Nii M, et al.	産科婦人科学	Accurate evaluation of the progress of delivery with transperineal ultrasound may improve vaginal delivery: a single-center retrospective study	Sci Rep. 2023 Nov 28;13(1):20945. doi: 10.1038/s41598-023-47457-2.	Original Article
212	Kato H, Kato N, Ouchi T, et al.	放射線医学	Hemolytic Anemia Caused by Graft Kinking Following Ascending Aortic Replacement: Endovascular Treatment With a Palmaz XL Stent	Vascular and Endovascular Surgery. 2024 Apr;58(4):457-460	Case report
213	Saeki N, Mizutani M, Tanimura S, et al.	地域看護学	Types and frequency of social participation and comprehensive frailty among community-dwelling older people in Japan	Prev Med Rep. 2023 Sep 23;36:102443. doi: 10.1016/j.pmedr.2023.102443. eCollection 2023 Dec.	Original Article
214	Asanuma K, Ishihara M, Nakamura T, et al.	整形外科	Histological Assessment of Synovial Sarcoma Before and After TCR-T Cell Therapy and Cryoablation: A Case Report	Anticancer Research. 2023 Dec;43(12):5737-5748	Case report
215	Nagai A, Sugimoto K, Yamamoto T, et al.	総合診療医学	A case of refractory hepatic hydrothorax due to pleuroperitoneal communication successfully controlled by diaphragmatic plication and subsequent peritoneovenous shunting	Clin J Gastroenterol. 2024 Feb;17(1):137-142. doi: 10.1007/s12328-023-01889-5. Epub 2023 Nov 30.	Case report
216	Naito Y, Hasegawa M, Tone S, et al.	整形外科	Minimum 7-year results of cementless total hip arthroplasty with vitamin E-diffused and 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine-grafted highly cross-linked polyethylene	Medicine. 2023 Dec 1;102(48):e36257	Original Article
217	Inoue T.	腎泌尿器外科学	This issue 30-12	Int J Urol. 2023 Dec;30(12):1067. doi: 10.1111/iju.15339.	Others
218	Ishii K.	腫瘍病理学	Fibroblasts as Playmakers of Cancer Progression: Current Knowledge and Future Perspectives	Cancers (Basel). 2023 Nov 22;15(23):5538. doi: 10.3390/cancers15235538	Others
219	Matsubara H, Nagashima R, Chujo S, et al.	眼科	Subclinical Ocular Changes after Intravitreal Injections of Different Anti-VEGF Agents for Neovascular Age-Related Macular Degeneration	J Clin Med. 2023 Nov 29;12(23):7401. doi: 10.3390/jcm12237401.	Original Article
220	Tohyama M, Shirai Y, Kokura Y, et al.	リハビリテーション医学	Nutritional Care and Rehabilitation for Frailty, Sarcopenia, and Malnutrition	Nutrients. 2023 Nov 24;15(23):4908. doi: 10.3390/nu15234908.	Others
221	Matsui Y, Kataoka M, Tanimura S.	精神看護学	Factors influencing the recovery-oriented attitudes of nursing directors in psychiatric hospitals: A cross-sectional study in Japan	J Psychiatr Ment Health Nurs. 2024 Aug;31(4):492-506. doi: 10.1111/jpm.13002. Epub 2023 Dec 10.	Original Article
222	Takakura A, Hirai T, Hamaguchi N, et al.	薬剤部	Reduced blood glucose levels by the combination of vadadustat in an elderly patient with chronic kidney disease who was receiving mitiglinide and sitagliptin: a case report	J Pharm Health Care Sci. 2023 Dec 11;9(1):46. doi: 10.1186/s40780-023-00316-8.	Case report

223	Matsumoto R, Motomura E, Shiroyama T, et al.	精神科神経科	Impact of the Japanese Government's 'General Principles of Suicide Prevention Policy' on youth suicide from 2007 to 2022	BJPsych Open. 2023 Dec 19;10(1):e16. doi: 10.1192/bjo.2023.616.	Original Article
224	Matsumoto R, Motomura E, Onitsuka T, et al.	精神科神経科	Trends in Suicidal Mortality and Motives among Working-Ages Individuals in Japan during 2007-2022	Eur J Investig Health Psychol Educ. 2023 Nov 27;13(12):2795-2810. doi: 10.3390/ejihpe13120193.	Original Article
225	Yin C, Okugawa Y, Kitajima T, et al.	消化管・小児外科学	Clinical Significance of the Preoperative Inflammatory Burden Index in Esophageal Cancer	Oncology. 2024;102(7):556-564. doi: 10.1159/000535727. Epub 2023 Dec 22.	Original Article
226	Nii M, Enomoto N, Ishida M, et al.	周産母子センター (産科婦人科)	Two-dimensional phase-contrast MRI reveals changes in uterine arterial blood flow in pregnant women administered tadalafil for fetal growth restriction	Placenta. 2024 Feb;146:1-8. doi: 10.1016/j.placenta.2023.12.013. Epub 2023 Dec 23.	Original Article
227	Hamada Y, Ikenoyama Y, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Long-term outcomes after endoscopic submucosal dissection for colorectal epithelial neoplasms in patients with severe comorbidities	JGH Open. 2023 Dec 6;7(12):974-981. doi: 10.1002/jgh3.13016. eCollection 2023 Dec.	Original Article
228	Tamaishi Y, Tanaka H, Hirai T, et al.	産科婦人科学	Safety and dose-finding trial of tadalafil administered for fetus in labor: A phase I clinical study	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Mar;50(3):448-455. doi: 10.1111/jog.15871. Epub 2024 Jan 2.	Original Article
229	Ishida M.	放射線医学	Editorial for "Healthy Adult Left and Right Ventricular Torsion and Torsion Rates With MR-Feature Tracking"	J Magn Reson Imaging. 2024 Jan 2. doi: 10.1002/jmri.29204. Online ahead of print.	Others
230	Oue H, Miyachi S, Higashi S, et al.	腎泌尿器外科学	Female pelvic organ-preserving robot-assisted simple cystectomy and intracorporeal ileal neobladder reconstruction on a young woman with Hunner-type interstitial cystitis	IJU Case Rep. 2023 Nov 23;7(1):73-76. doi: 10.1002/iju5.12671. eCollection 2024 Jan.	Case report
231	Inumaru A, Tamaki T, Tsujikawa M, et al.	がん看護学	Modules From the End-of-Life Nursing Education Consortium: Japan Core Curriculum Necessary for Second- to Fourth-Year Nurses as Assessed by Advanced Practice Registered Nurses	Cur us. 2024 Jan 9;16(1):e51970	Original Article
232	Nishimura M, Nakanishi T, Ichishi M, et al.	皮膚科学	Increased Mortality Risk at Septic Condition in Inflammatory Skin Disorders and the Effect of High-Fat Diet Consumption	Int J Mol Sci. 2023 Dec 29;25(1):478. doi: 10.3390/ijms25010478.	Original Article
233	Takasaki A, Kurita T, Hirota Y, et al.	CCUネットワーク支援センター (循環器内科)	Isolated Coronary Arteritis Treated With FDG-PET/CT-Guided Immunosuppressant to Break the Vicious Cycle of In-Stent Restenosis	JACC Case Rep. 2023 Nov 15;28:102102. doi: 10.1016/j.jaccas.2023.102102. eCollection 2023 Dec 20.	Case report
234	Kuriyama N, Mizuno S, Sakamoto T, et al.	肝胆膵・移植外科学	Impact of radiological and pathological splenic vein involvement in patients with resectable pancreatic body or tail cancer	Langenbecks Arch Surg. 2024 Jan 15;409(1):39. doi: 10.1007/s00423-024-03232-z.	Original Article
235	Ono R, Horibata K.	亀山地域医療学 (総合診療医学)	Cross-sectional study investigating the relationship between pit recovery time and serum albumin levels in bilateral lower extremity pitting oedema	BMJ Open. 2024 Jan 18;14(1):e079327. doi: 10.1136/bmjopen-2023-079327.	Original Article
236	Wang L, Matsumoto M, Akahori Y, et al.	個別化がん免疫治療学	Preclinical evaluation of a novel CAR-T therapy utilizing a scFv antibody highly specific to MAGE-A4(p230-239)/HLA-A*02:01 complex	Mol Ther. 2024 Mar 6;32(3):734-748. doi: 10.1016/j.ymthe.2024.01.018. Epub 2024 Jan 18.	Original Article
237	Murata Y, Nishi T, Kaneko I, et al.	医動物・感染医学	Coordinated regulation of gene expression in Plasmodium female gametocytes by two transcription factors	Elife. 2024 Jan 22;12:RP88317. doi: 10.7554/eLife.88317.	Original Article

238	Nakagawa H, Lin A.	消化器内科学	The translation of oncogenic mRNAs regulated by pseudouridylation: A new player in HCC	Hepatology. 2024 Jan 22. doi: 10.1097/HEP.0000000000000761. Online ahead of print.	Others
239	Wakai E, Shiromizu T, Otaki S, et al.	統合薬理学	Lansoprazole Ameliorates Isoniazid-Induced Liver Injury	Pharmaceuticals (Basel). 2024 Jan 8;17(1):82. doi: 10.3390/ph17010082.	Original Article
240	Yamada F, Kato K, Nagashima R, et al.	眼科学	Case of persistent corneal epithelial damage after cataract surgery leading to diagnosis of vitamin A deficiency	Documenta Ophthalmologica. 2024 Apr;148(2):121-128	Case report
241	Hamada Y, Ikenoyama Y, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal cancer in a diverticulum: A case report with literature review	JGH Open. 2023 Dec 27;8(1):e13026. doi: 10.1002/jgh3.13026. eCollection 2024 Jan.	Case report
242	Fujimoto H, D'Alessandro-Gabazza CN, Yasuma T, et al.	呼吸器内科学	Leveraging Microbiome Composition Variability for Precision Medicine in Idiopathic Pulmonary Fibrosis	Am J Respir Crit Care Med. 2024 Jan 25. doi: 10.1164/rccm.202310-1899LE. Online ahead of print.	Others
243	Sakamoto M, Tanaka H, Enomoto S, et al.	産科婦人科学	The efficacy of vaginal treatment for non-Lactobacillus dominant endometrial microbiota-A case-control study	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Apr;50(4):604-610. doi: 10.1111/jog.15897. Epub 2024 Feb 2.	Original Article
244	Sawai S, Yamada R, Ikenoyama Y, et al.	消化器内科学	The Diagnosis of Esophageal Tuberculosis Through an Endoscopic Ultrasound-guided Fine-needle Aspiration Biopsy: A Case Study	Intern Med. 2024 Feb 5. doi: 10.2169/internalmedicine.2824-23. Online ahead of print.	Original Article
245	Akeda K, Nakase K, Yamada J, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学 / 整形外科	Progression of vertebral deformity of prevalent vertebral fractures in the elderly: a population-based study	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Feb 5;25(1):110. doi: 10.1186/s12891-024-07254-y.	Original Article
246	Kato H, Umemura T, Hagihara M, et al.	薬剤部	Development of a therapeutic drug-monitoring algorithm for outpatients receiving voriconazole: A multicentre retrospective study	Br J Clin Pharmacol. 2024 May;90(5):1222-1230. doi: 10.1111/bcp.16004. Epub 2024 Feb 6.	Original Article
247	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Comparison of accuracy and early outcomes in robotic total knee arthroplasty using NAVIO and ROSA	Sci Rep. 2024 Feb 8;14(1):3192. doi: 10.1038/s41598-024-53789-4.	Original Article
248	Ono R, Horibata K.	亀山地域医療学(総合診療医学)	Xiphodynia with limited decrease in the xiphoid process-sternal angle but recognised compression of the rectus abdominis	BMJ Case Rep. 2024 Feb 7;17(2):e259176. doi: 10.1136/bcr-2023-259176.	Case report
249	Ma R, Okugawa Y, Shimura T, et al.	消化管・小児外科学	Clinical implications of C-reactive protein-albumin-lymphocyte (CALLY) index in patients with esophageal cancer	Surgical Oncology. 2024 Apr;53:102044	Original Article
250	Saiki R, Katayama K, Saiki H, et al.	臨床研修・キャリア支援部(腎臓内科)	Nephrotic syndrome with acute kidney injury due to combination therapy of immune checkpoint inhibitors: a case report and review of the literature	BMC Nephrology. 2024 Feb 9;25(1):51	Review
251	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Age-Dependent Activation of Pannexin1 Function Contributes to the Development of Epileptogenesis in Autosomal Dominant Sleep-related Hypermotor Epilepsy Model Rats	Int J Mol Sci. 2024 Jan 28;25(3):1619. doi: 10.3390/ijms25031619.	Original Article
252	Nampei M, Suzuki Y, Nakajima H, et al.	脳神経外科学	Acute-Phase Plasma Pigment Epithelium-Derived Factor Predicting Outcomes after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage in the Elderly	Int J Mol Sci. 2024 Jan 30;25(3):1701. doi: 10.3390/ijms25031701.	Original Article

253	Tone S, Hasegawa M, Naito Y, et al.	リハビリテーション部 (整形外科)	Two- and three-dimensional evaluations following handheld robot-assisted total knee arthroplasty	J Robot Surg. 2024 Feb 10;18(1):70. doi: 10.1007/s11701-024-01827-8.	Original Article
254	Tani K, Kanno R, Harada A, et al.	個別化がん免疫治療学 / 沖縄科学技術大学院大学	High-resolution structure and biochemical properties of the LH1-RC photocomplex from the model purple sulfur bacterium, <i>Allochrochromatium vinosum</i>	Commun Biol. 2024 Feb 12;7(1):176. doi: 10.1038/s42003-024-05863-w.	Original Article
255	Yamaguchi S, Minamide N, Imai H, et al.	修復再生病理学	The development of early human lymphatic vessels as characterized by lymphatic endothelial markers	EMBO J. 2024 Mar;43(5):868-885. doi: 10.1038/s44318-024-00045-0. Epub 2024 Feb 14.	Original Article
256	Sato T, Ogihara Y, Nakaya H, et al.	臨床研修・キャリア支援部 (循環器内科)	Management of pulmonary hemodynamics prior to delivery in a pregnant woman with development of decompensated pulmonary arterial hypertension	Journal of Cardiology Cases. 2023 Oct 21;29(2):55-58	Case report
257	Kondo M, Goto D, Miyazaki M, et al.	皮膚科	A case of Japanese spotted fever probably transmitted by a tick bite caused by <i>Haemaphysalis cornigera</i>	J Dermatol. 2024 Apr;51(4):614-616. doi: 10.1111/1346-8138.17107. Epub 2024 Feb 17.	Case report
258	Sakai-Sugino K, Uematsu J, Yamamoto H, et al.	感染症制御医学・分子遺伝学	Inhibitory effects of kaempferol, quercetin and luteolin on the replication of human parainfluenza virus type 2 in vitro	Drug Discov Ther. 2024 Mar 20;18(1):16-23. doi: 10.5582/ddt.2023.01099. Epub 2024 Feb 20.	Original Article
259	Fujita M, Kitagawa K, Domae K, et al.	放射線医学	Epipericardial fat necrosis diagnosed by cardiac CT in a patient with apical hypertrophic cardiomyopathy	Radiol Case Rep. 2024 Feb 13;19(5):1708-1711. doi: 10.1016/j.radcr.2024.01.083. eCollection 2024 May.	Case report
260	Fujimoto S, Ikesugi K, Ichio T, et al.	眼科学	Reliability of Binocular Esterman Visual Field Test in Patients with Glaucoma and Other Ocular Conditions	Diagnostics (Basel). 2024 Feb 16;14(4):433. doi: 10.3390/diagnostics14040433.	Original Article
261	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Age-Dependent Activation of Purinergic Transmission Contributes to the Development of Epileptogenesis in ADSHE Model Rats	Biomolecules. 2024 Feb 8;14(2):204. doi: 10.3390/biom14020204.	Original Article
262	Inoue T, Kato M, Sasaki T, et al.	腎泌尿器外科学	Postoperative complications and determinant of selecting non intracorporeal urinary diversion in patients undergoing robot-assisted radical cystectomy: an initial experience	Transl Cancer Res. 2024 Jan 31;13(1):46-56. doi: 10.21037/tcr-23-1234. Epub 2024 Jan 15.	Original Article
263	Yoshida K, Kondo E, Ishida M, et al.	周産母子センター (産科婦人科)	Visceral Adipose Tissue Percentage Compared to Body Mass Index as Better Indicator of Surgical Outcomes in Women With Obesity and Endometrial Cancer	J Minim Invasive Gynecol. 2024 May;31(5):445-452. doi: 10.1016/j.jmig.2024.02.009. Epub 2024 Feb 28.	Original Article
264	Ye Z, Okamoto R, Ito H, et al.	循環器・腎臓内科学	Myosin Light Chain Phosphatase Plays an Important Role in Cardiac Fibrosis in a Model of Mineralocorticoid Receptor-Associated Hypertension	J Am Heart Assoc. 2024 Mar 5;13(5):e032828. doi: 10.1161/JAHA.123.032828. Epub 2024 Feb 29.	Original Article
265	Yada Y, Asanuma K, Kakimoto T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Screening for Synergistic Reagents With Pazopanib Against Osteosarcoma Using a Compound Library	Anticancer Res. 2024 Mar;44(3):1071-1078. doi: 10.21873/anticancerres.16902.	Original Article
266	Adachi R, Nakamura T, Nakata K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	The Effect of Photodynamic Therapy Using 5-Aminolevulinic Acid in Bone and Soft Tissue Sarcoma Cells	Anticancer Res. 2024 Mar;44(3):963-969. doi: 10.21873/anticancerres.16891.	Original Article
267	Yamaguchi S, Ichikawa Y, Takafuji M, et al.	放射線医学	Usefulness of second-generation motion correction algorithm in improving delineation and reducing motion artifact of coronary computed tomography angiography	J Cardiovasc Comput Tomogr. 2024 May-Jun;18(3):281-290. doi: 10.1016/j.jcct.2024.02.008. Epub 2024 Feb 29.	Original Article

268	Hamada Y, Aota T, Nakagawa H.	消化器・肝臓内科	Intramural Esophageal Hematoma	Intern Med. 2024 Mar 4. doi: 10.2169/internalmedicine.3117-23. Online ahead of print.	Others
269	Kirii Y, Kurita T, Morita K, et al.	循環器・腎臓内科学	Unique Case of Coronary Artery Rupture and Acute Myocardial Infarction Triggered by a Karate Punch: Evaluation of the Hit Site by CT Imaging	Circ Cardiovasc Imaging. 2024 Mar;17(3):e016343. doi: 10.1161/CIRCIMAGING.123.016343. Epub 2024 Mar 4	Case report
270	Asai Y, Takai Y, Murasaka T, et al.	薬剤部	Evaluation of a joint workshop on study design for hospital and community pharmacists: a retrospective cross-sectional survey	J Pharm Health Care Sci. 2024 Mar 4;10(1):14. doi: 10.1186/s40780-024-00337-x.	Others
271	Deguchi K, Sasaki T, Oue H, et al.	腎泌尿器外科学	Role of Bone Scan Index (BSI) in the Prognosis and Treatment Efficacy in Castration-Sensitive Prostate Cancer Patients with Bone Metastasis	Acta Urologica Japonica. 2024 Feb;70(2):29-37	Original Article
272	Tsuruga T, Fujimoto H, Yasuma T, et al.	呼吸器内科学	Role of microbiota-derived corisin in coagulation activation during SARS-CoV-2 infection	J Thromb Haemost. 2024 Mar 5:S1538-7836(24)00118-1. doi: 10.1016/j.jth.2024.02.014. Online ahead of print.	Original Article
273	Nishimura A, Senga Y, Fujikawa Y, et al.	スポーツ整形外科学(運動器外科学・腫瘍集学治療学)	Prevalence and risk factors of ankle osteoarthritis in a population-based study	Foot Ankle Surg. 2024 Feb 24:S1268-7731(24)00036-5. doi: 10.1016/j.fas.2024.02.009. Online ahead of print.	Original Article
274	Fujimoto M, Miyazaki T, Yamamoto A, et al.	脳神経外科	A novel approach to evaluation of lumbar bone density using Hounsfield units in volume of interest on computed tomography imaging	J Neurosurg Spine. 2024 Mar 8;4(6):708-716. doi: 10.3171/2024.1.SPINE231137. Print 2024 Jun 1.	Original Article
275	Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, et al.	循環器内科	Fragility and long-term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism receiving direct oral anticoagulants: From the COMMAND VTE REGISTRY-2	Thrombosis Research. 2024 Apr;236:191-200	Original Article
276	Fukuya Y, Asaka Y.	母性看護・助産学	Work engagement influencing factors of Japanese midwives working in prenatal medical centers	Eur J Midwifery. 2024 Mar 11;8. doi: 10.18332/ejm/183805.eCollection 2024.	Original Article
277	Nishiwaki R, Inoue Y, Sugao M, et al.	免疫学	Hangeshashinto-Associated Mesenteric Phlebosclerosis and Highly Atypical Adenoma Requiring Laparoscopic Right Hemicolectomy	Diagnostics (Basel). 2024 Mar 6;14(5):565. doi: 10.3390/diagnostics14050565.	Others
278	Nakamura T, Takenaka S, Outani H, et al.	整形外科	The Combined Use of Inflammation Markers, Modified Glasgow Prognostic Score, and Sarculator Nomogram in Extremity Soft Tissue Sarcoma: A Multicenter Observational Study	Cancers (Basel). 2024 Mar 6;16(5):1077. doi: 10.3390/cancers16051077.	Original Article
279	Mimuro M, Iwasaki Y.	病理部	Age-Related Pathology in Corticobasal Degeneration	Int J Mol Sci. 2024 Feb 27;25(5):2740. doi: 10.3390/ijms25052740.	Case report
280	Kato H, Hamada Y, Takano S, et al.	薬剤部	A systematic review and meta-analysis of antibiotic-loaded bone cement for prevention of deep surgical site infections following primary total joint replacement	J Infect Chemother. 2024 Mar 12:S1341-321X(24)00078-3. doi: 10.1016/j.jiac.2024.03.003. Online ahead of print.	Review
281	Sasaki T, Ebara S, Tatenuma T, et al.	腎泌尿器外科	Prognostic factors among patients with pathological Grade Group 5 prostate cancer based on robot-associated radical prostatectomy specimens from a large Japanese cohort (MSUG94)	World Journal of Urology. 2024 Mar 14;42(1):152	Original Article
282	Asanuma K, Tsujii M, Hagi T, et al.	整形外科	Pedicled flap transfer after chest wall malignant tumor resection and potential risk of postoperative respiratory problems for patients with low FEV1.0	Front Surg. 2024 Mar 5;11:1357265. doi: 10.3389/fsurg.2024.1357265. eCollection 2024.	Original Article

283	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	Evaluation of effectiveness, hyperkalaemia, and hepatotoxicity of trimethoprim-sulphamethoxazole prophylaxis for <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia in paediatric patients: A single-centre retrospective study	Int J Antimicrob Agents. 2024 May;63(5):107151. doi: 10.1016/j.ijantimicag.2024.107151. Epub 2024 Mar 19	Others
284	Nii M, Oda T, Morikawa M, et al.	周産母子センター (産科婦人科)	Changes in use and outcomes after fibrinogen concentrate insurance coverage for critical obstetrical hemorrhage: a nationwide questionnaire survey in Japan	Sci Rep. 2024 Mar 20;14(1):6711. doi: 10.1038/s41598-024-57244-2.	Original Article
285	Nakase K, Kita K.	個別化がん免疫治療学	IL-2/CD25 axis mediates cellular networks promoting the growth of CD25(+) acute myeloid leukemia cells	Leuk Res Rep. 2024 Feb 23;21:100454. doi: 10.1016/j.lrr.2024.100454. eCollection 2024.	Original Article
286	Sakaida H, Kobayashi M, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Usefulness of endoscopic endonasal underwater surgery using a combination of coblation and a lens-cleaning system for hemostasis in hereditary hemorrhagic telangiectasia	Auris Nasus Larynx. 2024 Jun;51(3):512-516. doi: 10.1016/j.anl.2024.02.007. Epub 2024 Mar 23.	Case report
287	Kanamaru H, Zhu S, Dong S, et al.	脳神経外科学	UDP-Glucose/P2Y14 Receptor Signaling Exacerbates Neuronal Apoptosis After Subarachnoid Hemorrhage in Rats	Stroke. 2024 May;55(5):1381-1392. doi: 10.1161/STROKEAHA.123.044422. Epub 2024 Mar 25	Original Article
288	Iwasa M, Sugimoto R, Eguchi A, et al.	消化器・肝臓内科	Effectiveness of 1-year pemafibrate treatment on steatotic liver disease: the influence of alcohol consumption	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2024 Jun 1;36(6):793-801. doi: 10.1097/MEG.0000000000002766. Epub 2024 Mar 21	Original Article
289	Ii Y, Ishikawa H, Nishigaki A, et al.	神経画像病態学 (神経病態内科学)	Superficial small cerebellar infarcts in cerebral amyloid angiopathy on 3 T MRI: A preliminary study	Journal of the Neurological Sciences. 2024 Apr 15;459:122975	Original Article
290	Sakuma H.	放射線医学	Virtual Noncontrast CT for Coronary Artery Calcification Scoring Using Photon-Counting CT	Radiology. 2024 Mar;310(3):e240476. doi: 10.1148/radiol.240476.	Others
291	Takeuchi K, Abo M, Date H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Practical guide for the diagnosis and management of primary ciliary dyskinesia	Auris Nasus Larynx. 2024 Jun;51(3):553-568. doi: 10.1016/j.anl.2024.02.001. Epub 2024 Mar 27.	Review
292	Wakabayashi H, Hasegawa M, Naito Y, et al.	整形外科	Long-Term Outcome of Metal-on-Metal Total Hip Arthroplasty with Modular Neck Stem	J Clin Med. 2024 Mar 7;13(6):1525. doi: 10.3390/jcm13061525.	Original Article
293	Ahmed S, Ma N, Kawanokuchi J, et al.	環境分子医学	Taurine reduces microglia activation in the brain of aged senescence-accelerated mice by increasing the level of TREM2	Sci Rep. 2024 Mar 28;14(1):7427. doi: 10.1038/s41598-024-57973-4.	Original Article
294	Kondo M, Nakanishi T, Habe K, et al.	皮膚科	Dermoscopic image of the hairs in a very early lesion of tinea capitis caused by <i>Trichophyton rubrum</i>	Clin Case Rep. 2024 Mar 26;12(4):e8706. doi: 10.1002/ccr3.8706. eCollection 2024 Apr.	Case report
295	Narushima M, Shiraishi M, Banda CH, et al.	形成外科学	Microsurgical Treatment for Arteriovenous Malformations in the Hand	Hand Clin. 2024 May;40(2):229-236. doi: 10.1016/j.hcl.2023.12.002. Epub 2024 Jan 9.	Review
296	Naito Y, Hasegawa M, Tone S, et al.	整形外科	Accuracy of cup placement and pelvic motion in total hip arthroplasty in the lateral decubitus position using a new computed tomography-based navigation system with augmented reality technology	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 May;144(5):2381-2389. doi: 10.1007/s00402-024-05284-8. Epub 2024 Mar 30	Original Article
297	Kashima Y, Kato K, Takeuchi M, et al.	眼科学	Development of acute hydrops in eye with infectious keratitis: A case report	Am J Ophthalmol Case Rep. 2024 Mar 21;34:102045. doi: 10.1016/j.ajoc.2024.102045. eCollection 2024 Jun.	Case report

298	Ogura T, Shiraishi C.	臨床研究開発センター	Analysis of Adverse Events Following Phenobarbital Administration for Pediatric Patients Categorized by One-Year Age Increments Using the U.S. Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System	Cur us. 2024 Mar 18;16(3):e56418	Original Article
299	Yamabe Y, Hasegawa M, Kobayashi G, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Neuropathic pain in patients with osteoarthritis of the hip before and after total hip arthroplasty	PLoS One. 2024 Apr 25;19(4):e0301352. doi: 10.1371/journal.pone.0301352. eCollection 2024.	Original Article
300	Uchida K, Yokoyama H, Yamamoto A, et al.	小児外科	Safe extraction technique of a metallic blade after heated tobacco ingestion	Pediatrics International. 2024 Jan-Dec;66(1):e15763	Case report
301	Maeda K, Kuriyama N, Noguchi D, et al.	肝胆膵・移植外科	Xa inhibitor edoxaban ameliorates hepatic ischemia-reperfusion injury via PAR-2-ERK 1/2 pathway	PLoS One. 2024 May 15;19(5):e0292628	Original Article
302	Yamashita D, Fujita S, Kagawa Y, et al.	循環器・腎臓内科学	Atrial fibrillation ablation with evidence of electrical conduction through the left atrial band: A case report	HeartRhythm Case Rep. 2024 Feb 18;10(5):317-320. doi: 10.1016/j.hrcr.2024.02.007. eCollection 2024 May.	Case report
303	Yoshiakwa-Terada K, Takeuchi H, Tachibana R, et al.	高度生殖医療センター	Age, sexual abstinence duration, sperm morphology, and motility are predictors of sperm DNA fragmentation	Reprod Med Biol. 2024 May 28;23(1):e12585. doi: 10.1002/rmb2.12585. eCollection 2024 Jan-Dec.	Original Article
304	Koizumi G, Hayashi A, Takigawa A, et al.	歯科口腔外科	Novel Histopathological Findings of Micro Bone Fragments and Epithelial Response in the Oral Mucosa in Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaw	J Investig Med High Impact Case Rep. 2024 Jan-Dec;12:23247096241258076. doi: 10.1177/23247096241258076.	Case report
305	Asai Y, Muramatsu A, Kobayashi T, et al.	薬剤部	A multicenter prospective cohort trial of a pharmacist-led nutritional intervention on serum potassium levels in outpatients with chronic kidney disease: The MieYaku-Chronic Kidney Disease project	PLoS One. 2024 May 31;19(5):e0304479. doi: 10.1371/journal.pone.0304479. eCollection 2024.	Original Article
306	Yamashita D, Fujimoto N, Okado R, et al.	循環器・腎臓内科学	Cardiac angiosarcoma with pulmonary and adrenal metastases diagnosed by FDG-PET/CT-guided adrenal biopsy	J Cardiol Cases. 2024 Feb 15;29(6):248-250. doi: 10.1016/j.jccase.2024.02.003. eCollection 2024 Jun.	Case report
307	Niwa K, Toyoda H, Kohso A, et al.	小児科学	Case Report: MYH9-related disease caused by Ala44Pro mutation in a child with a previous diagnosis of chronic immune thrombocytopenia	Front Pediatr. 2024 May 17;12:1391742. doi: 10.3389/fped.2024.1391742. eCollection 2024.	Case report
308	Shimada Y, Zang L, Ishimaru T, et al.	統合薬理学	Lipid- and glucose-lowering effects of Rhamnan sulphate from Monostroma nitidum with altered gut microbiota in mice	Food Sci Nutr. 2024 Mar 25;12(6):4342-4352. doi: 10.1002/fsn3.4100. eCollection 2024 Jun.	Original Article
309	Yodoya N, Sawada H, Mitani Y, et al.	臨床研修・キャリア支援部 (小児科)	School electrocardiography screening program prompts the detection of otherwise unrecognized atrial septal defect in children in Japan	Front Pediatr. 2024 Jun 3;12:1396853. doi: 10.3389/fped.2024.1396853. eCollection 2024.	Original Article
310	Nakamori S, Kucukseymen S, Rodriguez J, et al.	循環器・腎臓内科学	Obesity-Related Differences in Pathomechanism and Outcomes in Patients With HFpEF: A CMR Study	JACC Adv. 2023 Nov 24;2(10):100730. doi: 10.1016/j.jacadv.2023.100730. eCollection 2023 Dec.	Original Article
311	Okita Y, Toiyama Y, Ikeuchi H, et al.	消化管外科	Possible poor prognosis in younger-onset Crohn's disease-associated anorectal cancer: A subanalysis of the Nationwide Japanese study	Annals of Gastroenterological Surgery. 2024 Jan 27;8(4):620-630	Original Article

計311件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に 印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 ・ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に関すること(1回) ・ 「臨床研究法」に関すること(1回)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、病理専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、総合診療専門研修プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	371人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 憲彦	総合診療科	教授	30年	
土肥 薫	循環器内科	教授	30年	
俵 功	血液内科	教授	30年	
中川 勇人	消化器・肝臓内科	教授	24年	
新堂 晃大	脳神経内科	教授	23年	H26.4.1-H28.3.31休職
小林 哲	呼吸器内科	教授	33年	
水野 聡朗	腫瘍内科	准教授	30年	
村田 智博	腎臓内科	講師	25年	
矢野 裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	39年	
鈴木 圭	感染症内科	教授	22年	
水野 修吾	一般外科	教授	29年	
問山 裕二	消化管外科	教授	27年	
水野 修吾	肝胆膵・移植外科	教授	29年	
庄村 遊	心臓血管外科	准教授	32年	
高尾 仁二	呼吸器外科	教授	40年	
河口 浩介	乳腺外科	教授	18年	
小池 勇樹	小児外科	講師	21年	H27.4.1-H29.3.31休職
長谷川 正裕	整形外科	教授	34年	
池田 智明	産科婦人科	教授	41年	
平山 雅浩	小児科	教授	38年	
岡田 元宏	精神科神経科	教授	33年	
山中 恵一	皮膚科	教授	31年	H15.5.16-H17.6.30休職
井上 貴博	腎泌尿器外科	教授	30年	
近藤 峰生	眼科	教授	33年	H11.1.25-H13.1.25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	39年	
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	34年	
成島 三長	形成外科	教授	23年	
市川 泰崇	放射線科	教授	26年	

渡邊 昌俊	病理診断科	教授	35年	
奥川 喜永	ゲノム診療科	教授	21年	H25.4.1-H27.3.31休職 H27.8.1-H27.12.31休職
賀来 隆治	麻酔科	教授	28年	
賀来 隆治	緩和ケア科	教授	28年	
鈴木 圭	救急科	教授	22年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	35年	H15.4.1-H16.3.31休職
百崎 良	リハビリテーション科	教授	20年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1. クリティカルケア研修会

・研修の主な内容

・BLS

研修期間・実施回数 2023年4月17日（月）（1回60分）・1回

参加人数 看護師84名、放射線技師5名、臨床工学技師4名、管理栄養士3名、薬剤師7名、MSW2名、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士2名

・レベル フィジカルイグザミネーション

研修期間・実施回数 2023年5月8日（月）・12日（金）・16日（火）（1回120分）・6回

参加人数 84名

・レベル 救急時の対応

研修期間・実施回数 2023年5月26日（金）・29日（月）（1回180分）・4回

参加人数 82名

・技術トレーニング：BLS

研修期間・実施回数 2023年7月3日（月）・5日（水）・6日（木）・18日（火）・25日（火）・28日（金）（1回60分）・10回

参加人数 77名

・フィジカルアセスメント（入院患者編）

研修期間・実施回数 2023年6月26日（月）・27日（火）・7月7日（金）（1回120分）・6回

参加人数 76名

・チーム医療シナリオシミュレーション研修

研修期間・実施回数 2023年10月27日（金）・11月10日（金）（1回130分）・4回

参加人数 看護師73名、放射線技師5名、薬剤師7名、臨床検査技士3名、臨床工学技師4名、管理栄養士5名、理学療法士2名

・レベル フィジカルアセスメント（術後患者編）

研修期間・実施回数 2023年9月22日（金）・25日（月）・27日（水）（1回120分）・6回

参加人数 58名

・人工呼吸器勉強会

研修期間・実施回数 2024年1月26日（金）・30日（火）（1回30分）・4回

参加人数 34名

・レベル フィジカルアセスメント（急変患者対応編）

研修期間・実施回数 2023年12月8日（金）・11日（月）・18日（月）・22日（金）（1回120分）・4回

参加人数 60名

2. 看護部クリニカルラダーレベル、研修

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護師の能力開発・評価のためクリニカルリーダーのシステムがある。そのうち、レベルはリーダーシップを発揮し看護実践ができるレベル、レベルではロールモデルとなれるレベルをめざし、レベルでは、より複雑な状況において患者にとって最適な手段を選択しQOL向上を目指して育成している。レベルでは、看護倫理、リーダーシップ（知識編）、キャリア開発、フィジカルアセスメント（急変対応編）、認知症患者の看護、安全管理、経営管理、災害管理について、レベルでは、看護倫理、リーダーシップ（実践編）、看護理論、日常ケアから看護研究へ、安全管理、経営管理について研修を行った。レベルでは、看護研究、教育方法論、看護倫理コーディネーター養成に関する研修を行った。 ・研修の期間・実施回数 レベル 6月～2月 22回（1回60分～120分） レベル 6月～3月 22回（1回45分～90分） レベル 7月～2月 8回（1回30分～240分） ・研修の参加人数 延べ622名 レベル 460名、レベル 135名、レベル 27名 ラダー認定者数 レベル 44名、レベル 3名 レベル 1名
<p>業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、臨床研究、医療安全管理について 合同研修会：感染管理、医療情報、医療機器、医薬品の安全使用について ・研修の期間・実施回数 職員研修会：令和5年4月13日 合同研修会：令和5年4月18日、令和5年5月15日 ・研修の参加人数 職員研修会：2,085人（e-learning受講を含む） 合同研修会：2,112人（e-learning受講を含む）
<p>他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 池田 智明
管理担当者氏名	放射線部部长 市川 泰崇 薬剂部部长 岩本 卓也 医療安全管理部部长 兼児 敏浩 感染制御部部长 田辺 正樹 臨床工学部部长 竹内 万彦 医療情報管理部部长 土肥 薫 看護部部长 福永 稚子 医学・病院管理部総務課長 粟生 泰幸 医学・病院管理部経営管理課長 伊藤 利宏 医学・病院管理部医事課長心得 太田 善之 医学・病院管理部医療支援課長 柘植 智司

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第一項に	病院日誌	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。(患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。)なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。	
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第二	従業者数を明らかにする帳簿	従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。	
		高度の医療の提供の実績		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績		
		高度の医療の研修の実績		
		閲覧実績		
		紹介患者に対する医療提供の実績		
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療支援課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		総務課、医療支援課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		総務課、医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課、医療安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課、医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課、医療安全管理部、総合サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課、医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1.計画 <input checked="" type="radio"/> 2.現状
閲覧責任者氏名	病院長 池田 智明
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 粟生 泰幸
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係
閲覧の手続の概要 規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○安全管理に関する基本的な考え方 ○安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ○安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針 ○医療事故等発生の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 ○患者からの相談への対応に関する指針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年125回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理委員会（年12回） <ul style="list-style-type: none"> 医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全・倫理ポスト）への投書に関する事項を所掌する。 医療の質・倫理検討委員会（年23回） <ul style="list-style-type: none"> 移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。 医療安全会議（年78回） <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。 リスクマネージャー会議（年12回） <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。また、各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言し、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。 	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院長を講師として病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として職員の行動規範について、医療安全担当副病院長を講師として医療安全管理についての研修会を実施した。 ・ 学内講師による児童虐待、輸血に関する注意事項、医療安全管理についての研修会を実施した。 	

- ・外部講師による演題「アドバンス・ケア・プランニングと人生の最終段階における意思決定支援」の研修会を実施した。

医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
ヒヤリハットニュースの発行（月1回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 委員会等の組織に関する基本的事項 ・ 職員研修に関する基本方針 ・ 発生状況の報告に関する基本方針 ・ 感染発生対応に関する基本方針 ・ 指針の閲覧に関する基本方針 ・ その他の必要な基本方針 	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告 ・ 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告 ・ 病棟ラウンド指摘事項報告 ・ 手指衛生状況報告 ・ 血液培養2セット率報告 ・ AST活動状況報告 ・ 届け出抗菌薬使用状況報告 ・ SSIサーベイランスに関する報告 ・ 洗浄・消毒・滅菌に関する内容 ・ 感染症関連の従業員保健に関する内容 ・ 指針・マニュアルの改訂に関する内容 ・ 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有 ・ 感染症等の最新情報の共有 ・ 病院従業者等へのワクチン接種に関する内容 	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内講師による「標準予防策」、「COVID-19 5類移行後の変更点」及び「抗菌薬適正使用」についての研修会を実施した。 ・ 外部講師による演題「手指衛生の改善に向けた取り組みについて」、学内講師による演題「医療器具関連感染サーベイランスとAMR対策アクションプラン2023-2027」の研修会を実施した。 	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>院内にて迅速な対応が必要な感染症が院内の検査にて判明した場合、検査部より感染制御部に連絡が入ることとなっており、感染制御部が直ちに部署に出向き、感染対策を実施している。</p> <p>入院時の持ち込み感染症については、病棟より感染制御部へ連絡が入ることとなっている。</p> <p>従業者の感染症罹患については、感染制御部のホームページに専用の報告フォームがあり、フォームに入力することで感染制御部に報告されるシステムが確立されている。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員対象：医薬品安全管理担当者を講師とし、医薬品安全使用の研修会を実施した ・ 医療安全管理部薬剤師を講師として新入職員対象研修（医療安全）を実施した ・ 薬剤部職員を講師とし、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した 	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1．医薬品の採用 2．医薬品の購入 3．医薬品の管理 4．医薬品の請求と調剤・交付 5．未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順 6．与薬・施用と薬剤管理指導 7．医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い 8．重大な有害事象の予防・対応 9．医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い 10．研修医等による医薬品の取扱いの制限 11．各部門における手順 12．地域連携 13．医薬品安全使用のための業務手順書について 	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> ・ Vision Blue（トリバンプルー；眼科手術用色素製剤） ・ ILM Blue（プリリアントブルーG；眼科手術用色素製剤） ・ グルタルアルデヒド溶液（人工心膜の固定） ・ リファンピシン溶液（人工血管の感染予防） ・ エチレンジアミン四酢酸溶液（眼帯状角膜変性に対しキレートによるCa除去） ・ フェノールグリセリン注（薬剤抵抗性がん性疼痛の緩和目的のクモ膜下ブロック） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテ端末から電子医薬品集、添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。 ・ 医薬品の安全使用に関する院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行し、職員メールによる配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ掲載している。 ・ 病棟担当薬剤師、手術部担当薬剤師、医薬品情報室、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、リスクマネージャーで週一回ミーティングを実施、医薬品に関する情報やインシデントを共 	

有・伝達し対応策について検討を行っている。

- ・薬剤師が行った疑義照会のうち、重大（レベル0c相当）事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告し、注意喚起および改善策の検討を行っている。
- ・薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告し、委員会で内容および必要な対応を検討している。
- ・厚生労働省 最適使用推進ガイドライン対象医薬品は届出制とし、担当医師が記入した届出書を薬剤部医薬品情報室で精査し、投与の妥当性を確認している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	①・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年131回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者を講師として、全職員を対象に医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。 研修医や新人看護師、病棟移動看護師に対し、臨床工学技士を講師として医療機器の操作および安全使用について研修会を実施した。 特に技術の習得が必要と考えられる医療機器については、実地研修（使用方法や有用性・安全性に関する事項、トラブル発生時の対応含む）を実施した。 新規導入する医療機器に対して、メーカー担当者を講師とした研修会を開催。なお、研修会の実施においては、あらかじめ使用する職員の名簿を作成したうえで日程調整を行い、操作およびトラブル対応などについて実地研修を実施し、全員が受講できるよう複数回実施とした。 	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る計画の策定 (①・無) 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 臨床工学技士による定期点検とメーカー委託による定期点検を実施 動作点検（機器の自己診断機能含）、アラーム作動点検、精度点検を実施 	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> 植皮の固定目的としてV.A.C.Ult aの使用 抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎に対する血漿交換療法 難治性食道瘻孔に対してのステント留置 脳底動脈瘤に対するPipeline Embolization Deviceの使用 その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 未承認医療機器や適応外使用の医療機器を用いた医療の提供を行う事例は、未承認新規医療機器等を用いた医療の提供の適否等にかかる担当部門（医療安全管理部・サーベイランスチーム）へ報告し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会において内容を審議する。 診療、支援部門（手術部、アンギオ室、内視鏡室など）において、把握していない高難度新規医療技術が実施されていないかサーベイランスチームにより調査を行い、その結果を高難度新規医療技術評価委員会に報告する。 PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があればリスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師が参加するME機器中央管理運営委員会（年6回）で情報の共有を図っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	○有・無
<p>・責任者の資格(医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有(3名)・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で報告し、適宜、同委員会への審議申請を回している。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・担当者の指名の有無(○有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師)</p>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。</p>	
診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録等の管理に関する責任者（副病院長 医療安全担当）を配置し、医師、看護師、診療情報管理士において診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。

監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームド・コンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。

監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。

医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名

うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
- (2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。
- (3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。
- (4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。
- (5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。
- (6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。
- (7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。
- (8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。
- (9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。
- (10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。
- (11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。
(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。
- (12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。
- (13) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
- (14) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
- (15) 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況

の確認等に関すること。

(16) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。

(17) その他医療の安全管理に関すること。

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（8件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：

活動の主な内容：

- (1) 診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。
- (2) 高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
- (3) 当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（123件）、及び許可件数（120件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：

- (1) 診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。
- (2) 未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
- (3) 当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 212 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 242 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・ 医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
 - ・ 医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：山口大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：防衛医科大学校病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況

高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療を行う際に、医師と看護師など多職種での情報共有を行うことが望ましいと指摘があり、医療安全管理部より当該委員会での周知、手術部運営委員会での周知、リスクマネージャー会議での周知を行った。

当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

合同研修会 (臨床工学部、薬剤部、医療情報管理部、肝炎相談支援センターがそれぞれ講師を担当)、保険診療に関する研修会、褥瘡に係る研修会、診療用放射線の安全利用の研修、職員の倫理に関する研修会を実施した。

(注) 前年度の実績を記載すること (の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、日本医療機能評価機構が主催する「2023年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和2年2月 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院3(3rdG:Ver.2.0)」を受審
令和2年9月 条件付認定
令和4年3月 確認審査
令和4年7月 認定留保
令和4年12月 再審査
令和5年3月 認定(認定期間2020年7月25日～2025年7月24日)
令和5年9月 改善審査
令和6年1月 認定継続
令和7年6月 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院3(3rdG:Ver.3.0)」を受審予定

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

本院HPにて専用ページを設けて公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

手術部位感染サーベイランスの実施に関して、対象拡大に努め、術後感染の低減に向けた感染予防策を継続的に実施している。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

1. 医療法（昭和23年法律第205号）第10条の規定に則った者であること。
2. 医療の安全の確保のために必要な資質・能力として、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有すること。
3. 当院を管理運営する上で必要な資質・能力として、当院の基本理念・基本方針（下記参照）を理解し、その実現に向けた強い意志と統率力（リーダーシップ）、改革精神、コンプライアンス意識、当院又は当院以外の病院での組織管理経験を有し、医学部附属病院の安定的な経営基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的能力を有する者であること。
4. 医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに、中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し、医学部附属病院の課題について、医学部長及び学長と連携して取り組むことができる者であること。
5. 三重県の拠点病院として地域医療に貢献するために必要な資質・能力として、三重県や三重県医師会、関係病院、その他関係機関と連携協力していく指導力及び調整力を有すること。

【三重大学医学部附属病院の基本理念・基本方針】

基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、

人間性豊かな優れた医療人を育成します。

基本方針

- ✓ 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- ✓ 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- ✓ 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- ✓ 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- ✓ 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- ✓ 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）
- ・ 公表の方法

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関 係
西岡 慶子	国立大学法人 三重大学		規程第3条第1項第1号に基づく学 長が指名する理事地域共創担当の理 事として、大学の将来構想について 豊富な知見を有しているため	<input checked="" type="radio"/> 有・無
平山 雅浩	同上		規程第3条第1項第2号に基づき役 職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
池田 智明	同上		規程第3条第1項第3号に基づき役 職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
今中 恭子	同上		規程第3条第1項第4号に基づき医学 系研究科から推薦された大学教員 基礎医学系大学教員として、医学・ 医療に関する教育・研究について豊 富な経験を有しているため	<input checked="" type="radio"/> 有・無
兼児 敏浩	同上		規程第3条第1項第5号に基づき医学 部附属病院から推薦された職員 医療安全担当の副病院長として、病 院管理の上で特に重要な医療安全に ついて豊富な知見を有しているため	<input checked="" type="radio"/> 有・無
福永 稚子	同上		規程第3条第1項第6号に基づき役 職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
織田島 孝広	同上		規程第3条第1項第7号に基づき役 職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
伊藤 敦士	同上		規程第3条第1項第8号に基づき役 職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
横手 幸太郎	国立大学法人 千葉大学		規程第3条第1項第9号に基づき学 長が委嘱する学外有識者特定機能病 院の病院長経験者として、医学・医 療や病院の管理について豊富な知見 を有しているため	有 <input checked="" type="radio"/> 無
辻 保彦	辻製油株式会 社	○	規程第3条第1項第9号に基づき学 長が委嘱する学外有識者地元企業の 経営者として、法人経営や地域の経 済・社会について豊富な知見を有し ているため	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人事に関する事項 (2) 診療に関する事項 (3) 予算の配分方針に関する事項 (4) 組織の設置廃止の方針に関する事項 (5) 病院諸規程の制定改廃に関する事項 (6) その他病院長が必要と認める事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。 ・院内メールや紙資料配付による周知。 ・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 (無) ） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 (無) ） 	
合議体の委員名簿	

氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
池田 智明	○	医師	病院長
水野 修吾		医師	副病院長（診療担当） 肝胆膵・移植外科学 教授
問山 裕二		医師	副病院長（教育・地域連携担当） 消化管・小児外科学 教授
井上 貴博		医師	副病院長（研究・倫理担当） 腎泌尿器外科学 教授
福永 稚子		看護師	副病院長（医療サービス担当）
兼兒 敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 安全管理部 教授
土肥 薫		医師	副病院長（総務・働き方改革担当） 循環器・腎臓内科学 教授
渡邊 昌俊		医師	副病院長（医学部連携担当） 病理部長
岡田 元宏		医師	精神神経科学 教授
近藤 峰生		医師	眼科学 教授

高尾 仁二		医師	胸部心臓血管外科学 教授
山本 憲彦		医師	総合診療科 教授
竹内 万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授
平山 雅浩		医師	小児科学 教授 研究科長
新井 直也		歯科医師	口腔・顎顔面外科学 教授
成島 三長		医師	形成外科 教授
中島 亜矢子		医師	リウマチ膠原病内科学 教授
山中 恵一		医師	皮膚科学 教授
鈴木 秀謙		医師	脳神経外科学 教授
百崎 良		医師	リハビリテーション医学 教授
俵 功		医師	血液・腫瘍内科学 教授
小林 哲		医師	呼吸器内科学、代謝内分泌内科学 教授
中川 勇人		医師	消化器内科学 教授
奥川 喜永		医師	ゲノム医療部 教授
賀来 隆治		医師	麻酔科学分野 教授
新堂 晃大		医師	神経病態内科学 教授
鈴木 圭		医師	救命救急・総合集中治療センター 教授
河口 浩介		医師	乳腺外科学 教授
田辺 正樹		医師	感染制御部 教授
田丸 智巳		医師	臨床研究開発センター 教授
岡本 隆二		医師	臨床研修・キャリア支援部 教授
杉本 和史		医師	検査部 教授
岩本 卓也		薬剤師	薬剤部 教授
江藤 由美		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当）
伊藤 敦士		事務職員	医学・病院管理部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
本学ホームページに掲載。
- ・ 規程の主な内容
「病院長は、附属病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副病院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - <副病院長>
附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。
（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・倫理、医療サービス、医療安全、総務・働き方改革、医学部連携、事務）
 - <病院長顧問>
病院長の要請に基づき附属病院の事業に関し助言及び指導を行う。
 - <病院長特命補佐>
附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。
（担当：メディカルスタッフ、看護学科連携、特務、災害対策推進、医療・働き方改革）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに統括医長、外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。

日本医療機能評価機構が主催する「2021年度特定機能病院管理者研修」を管理者（病院長）、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： 医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無) ・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無) ・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無) ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・ 公表の方法：本学ホームページに掲載。 					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
大野 敏幸	津市役所 内部統制担当理事		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木 明	浜松医科大学医学 部附属病院 医療安全管理室 特任講師		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

三重大学においては、主として監事並びに内部監査部門（監査チーム）が管理者の業務執行状況を確認している。

「国立大学法人三重大学監事監査規程」第9条では監事の確認対象として、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要あると認めるときは、意見を述べることができる」となっている。これに基づき、監事は、下記（ ）の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を確認しており、監査チームも原則同席している。（役員会、経営協議会、教育研究評議会、全学マネジメント委員会、教育会議、危機管理委員会）

また、主として下表の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。加えて、監事が会議等で必要に応じて事務担当者に資料を求め内容を確認している。

更に、学長・理事が病院マネジメント会議に出席し、大学本部と病院との連携強化に取り組んでいることも確認している。

令和5年10月～令和6年9月の病院関連各種会議への出席状況

会議名	主たる議題	出席回数 (監事)	出席者
病院マネジメント会議	業績、医療安全、当局指摘対応、労務管理（医師の働き方改革等）ほか	27回	監事、監査チーム
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	10回	監事
メディカルマネジメント委員会	診療体制、診療稼働及び経営改善ほか	11回	監事、監査チーム
医療の質・倫理検討委員会	日本産科婦人科学会で定める着床前遺伝学検査(PGT-M)の審議事案がある際に監事出席	1回	監事
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス（医療法施行規則第15条の4第1項第2号）	2回	監事、監査チーム
病院監督管理委員会	外部委員会：予算執行及び管理運営の状況等（医療法施行規則第15条の4第1項第3号口）	1回	監事、監査チーム

な

お、新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行した後は、新型コロナ感染症対策本部会議は開催されていないが、監事は常に附属病院HP（職員専用）で、病院における新型コロナウイルスの陽性者の状況を確認している。

これら活動の状況は、月締めで監事が作成し、監査チームから開設者及び管理者等に監事病院関連活動報告書として提出している。

該当期間においては、附属病院の「医師の働き方改革」について、令和6年4月の開始までの進捗並びにその後の定着・改善状況について確認している。

法令遵守に関する体制としては、「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長が附属病院を含む全学のコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。コンプライアンス教育の啓発活動として令和5年度においても令和4年度に引き続き学内において部局別に顧問弁護士に

よるコンプライアンス研修会が実施されていることを確認した。また、附属病院においては保険診療等に関するコンプライアンス研修会が実施されたことを確認した。更には、令和6年度においても部局別に顧問弁護士によるコンプライアンス研修会を開催予定であることを確認した。

また、内部監査部門や病院担当者に人事異動があった際にも、開設者による監督体制の必要性について再周知し、体制が形骸化しないよう努めている。

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

(三重大学規則集HP) <https://www.mie-u.ac.jp/koukai/kisoku/aggregate/catalog/index.htm>

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成30年7月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置し、第2回を令和2年9月、第3回を令和4年3月23日、第4回を令和5年3月23日、第5回を令和6年2月19日に開催した。 委員は5名のうち3名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。 ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）（ 年1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ） ・ 公表の方法 本学ホームページに記載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
西岡 慶子	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有・無
織田島 孝広	同上		<input checked="" type="radio"/> 有・無
高木 純一	鈴鹿医療科学大学	○	有 <input checked="" type="radio"/> 無
大友 克之	朝日大学		有 <input checked="" type="radio"/> 無
辻 保彦	辻製油株式会社		有 <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 38 件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	①有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	①有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置しており、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。	